

取扱説明書（操作編）

VoIP 対応 IP電話機

VoiceCaster [IP-36N-ST101C]

お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

この電話機の取り扱いに際して、電話交換システムやIPネットワークに関する知識を必要とすることがありますので、必ず販売店もしくは通信システム及びネットワーク管理者の指示に従ってください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この『取扱説明書』には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口へお申しつけください。
- この通信システムは、日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および本書の一部または全部の無断改変、無断転載、無断複写を禁止いたします。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- 文中の会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

NAKAYO



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- AC電源アダプタを使用する場合、別売品のAC電源アダプタ以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となることがあります。すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、LANケーブルを外し、煙が出なくなるのを確認して、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本製品を落としたり、倒したりするなどの衝撃を与えないでください。万一、本製品を破損した場合は、すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、LANケーブルを外し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- ぬれた手で本製品やAC電源アダプタ(別売品)に触れないでください。感電・故障の原因となります。
- 本製品に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。万一、本製品に水が入った場合は、すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、LANケーブルを外し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品内部に、金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、LANケーブルを外し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品のそばに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、また小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- AC電源アダプタ(別売品)のコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重い物を載せたり、加熱したりすると、コードが破損します。AC電源アダプタ(別売品)のコードが破損した状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがありますので、すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、LANケーブルを外し、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口に修理を依頼してください。
- AC電源アダプタ(別売品)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。またAC電源プラグに金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
- AC電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。
- 異常音がしたり、本製品やAC電源アダプタ(別売品)が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがありますので、AC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜いて販売店もしくは弊社サービス・保守窓口にご連絡ください。
- AC電源アダプタ(別売品)に水がかかった場合は、すぐにAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にご連絡ください。
- 電話機のケースを開けたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電・故障の原因となることがあります。また内部の点検、調整、清掃、修理は、販売店もしくは弊社のサービス・保守窓口にて作業をご依頼ください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- AC電源アダプタ(別売品)はAC100Vのコンセントに接続してください。それ以外のコンセントに接続すると、火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 直射日光の当たるところや、暖房設備などの著しく温度が上昇するところに置いたりしないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また本製品の上に、重いものを載せないでください。バランスがくずれて、倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落下してけが・破損・故障の原因となることがあります。
- AC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜くときは、必ずAC電源プラグをもって抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、AC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜いて、ご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を移動、もしくは、お手入れする場合は、安全のため必ずAC電源アダプタ(別売品)や配線コードを抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
- 本製品に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。
- 電話機やケーブルを熱器具に近づけないでください。電話機やケーブルが溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 電話機を長時間使用されないときは、安全のためLANケーブルを抜き、AC電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機の裏側部分にゴムを使用しております。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります。
- 壁掛け使用時は落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 壁掛け用に取付ける場合は電話機の重みにより落下しないよう堅固に取付け・設置してください。けがの原因となることがあります。
- 本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- 本製品廃棄時は、販売店にご相談ください。
- AC電源アダプタ(別売品)の接続を行うときは、必ず接続先の確認をしてください。AC電源アダプタ(別売品)のHUBポートにはHUB、TELポートには本製品を接続してください。TELポートに、本製品以外のネットワーク機器を接続すると、故障をまねく場合があります。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 本製品と他のエレクトロニクス機器が近くに設置されている場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。影響のあった場合は、それぞれの機器との設置間隔をあけたり、電源を別のコンセントに接続するなどの措置を講じてください。
- 本製品に接続したケーブル類を、踏みつけたり、強い力で引っ張ったりしないでください。本製品や他に接続している機器、およびケーブルの故障・誤動作の原因となります。
- 本製品をベンジン・シンナー・アルコール・熱湯などで絶対に拭かないでください。変色や故障の原因となります。布等で乾拭きしてください。
- 本製品のPCポートはオートネゴシエーションです。パソコンの通信モードをオートネゴシエーションに設定したあと、本製品と接続してください。パソコンの通信モードは、本製品とパソコンを接続したまま、他の通信モードへ変更しないでください。
- 本製品のLANポートはオートネゴシエーションです。HUBの通信モードをオートネゴシエーションに設定したあと、本製品と接続してください。HUBの通信モードは、本製品とHUBを接続したまま、他の通信モードへ変更しないでください。
- AC電源アダプタ(別売品)のHUBポートには、10BASE-T、100BASE-TX対応以外のネットワーク機器を接続しないでください。
- まれにLANポートもしくはPCポートのリンクが成立しない場合があります。この場合はHUBもしくはAC電源アダプタ(別売品)をコンセントから抜き、10秒以上経ったあとに差し込んでください。LANポートの場合、上記操作を行ってもリンクが確立しない場合は、LANポートの設定をオートネゴシエーション以外の設定に変更して再度接続してください。その際は、HUBと本製品の通信モードを同じ設定にする必要があります。設定が異なる場合、正常に使用できません。
- 硫化水素の発生する場所(温泉地など)や塩分の多いところ(海岸など)でお使いのときは、電話機の寿命が短くなる場合があります。

目次

1. 本書の読み方	6
● 表記について	6
● 用語／機能について	6
● データ設定について	6
2. 各部の名称とはたらき	7
● 外観と名称	7
● プログラマブルキーへの割付け機能	8
● ランプ表示の例	9
● ランプ表示と電話機状態	10
● トーン表示の例	12
3. 電話機の使い方	14
3.1 内線に電話をかける	14
3.1.1 送受器をあげてかける(オフフック内線発信)	14
3.1.2 送受器をおろしたままかける(オンフック内線発信)	16
3.2 外線に電話をかける	18
3.2.1 ラインキーを使用しないで外線に電話をかける	18
3.2.1.1 送受器をあげてかける(オフフック外線発信)	18
● 外線発信特番を使う	18
● [外線発信]ボタンを使う	20
3.2.1.2 送受器をおろしたままかける(オンフック外線発信)	22
● [スピーカ]ボタン押下後に [外線発信]ボタンまたは外線発信特番を使う	22
● [外線発信]ボタンまたは外線発信特番で発信する	23
3.2.2 ラインキーを使用して外線に電話をかける	25
3.2.2.1 送受器をあげてかける(オフフック外線発信)	25
● [ラインキー]ボタンを使う	25
● [ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う	26
3.2.2.2 送受器をおろしたままかける(オンフック外線発信)	28
● [スピーカ]ボタン押下後に [ラインキー]ボタンを使う	28
● [ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う	29
3.3 その他の電話のかけ方	31
3.3.1 ダイヤルの内容を確認してからかける(プリセットダイヤル)	31
● ラインキー発信以外でのプリセットダイヤル方法	31
● ラインキー発信でのプリセットダイヤル方法	32
3.3.2 直前にかけた相手にかけ直す(リダイヤル)	34
3.3.3 発信履歴／着信履歴を検索してかける(履歴ダイヤル)	36
● 履歴内容の表示と発信	36
● 履歴内容の消去	38
3.3.4 電話帳内容を検索してかける(短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル)	40
● メモリ番号で検索してかける(短縮ダイヤル)	40
● 名称(フリガナ)を検索してかける(電話帳ダイヤル)	42
● グループで検索してかける	44
3.3.5 ワンタッチダイヤルでかける(ワンタッチダイヤル)	46
● ワンタッチダイヤルの内容を確認してからかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】	46
● ワンタッチダイヤルとダイヤル入力を組合せてかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】	47
● [ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけでかける【ワンタッチ即時発信＝発信する】	49
3.3.6 発信者番号の通知／非通知を指定してかける(発信者番号通知／非通知選択)	50
● 番号非通知を指定して外線にかける	50
3.3.7 GWを直接指定してかける(GW直接発信)	52
3.3.8 送受器をあげるだけで特定の相手先に発信する(ホットライン)	54
3.4 着信に応答する	56
3.4.1 着信を自動的に選択して応答する(オフフック着信応答)	56
3.4.2 着信(回線)を指定して応答する(プリセクション)	58
3.4.3 着信に自動応答する	60

3.5	通話を保留する、転送する	62
3.5.1	通話を一時保留する	62
	● 保留後、送受器をおろしてから保留を解除する	62
	● 保留後、送受器をおろさずに保留を解除する	63
3.5.2	別の相手を呼出して通話を転送する	64
	● 転送先を呼出して切り替える（応答前転送）	64
	● 転送先に用件を伝えてから切り替える（応答後転送）	66
	● 電話帳に登録されている相手を検索して転送する（電話帳閲覧転送）	68
3.5.3	パーク保留する、パーク保留を解除する	70
	● パーク保留する	70
	● パーク保留を解除する	71
3.5.4	通話中に別の相手を呼出して三者で通話をする	72
	● 三者通話をする	72
3.6	便利な機能	74
3.6.1	音量を調整する	74
	● 着信音の音量調整	74
	● 送受器、ヘッドセット受話の音量調整	74
	● スピーカ受話の音量調整	75
3.6.2	通話中に送話をミュートする	76
3.6.3	通話中にプッシュ信号を送出する	76
3.6.4	送受器をあげずに通話する（ハンズフリー通話）	77
3.6.5	盗聴防止モードで通話する	79
3.6.6	発信者情報の表示	81
	● 外線/内線着信の場合	81
	● 電話帳登録内容と一致した場合（名称表示）	81
	● 番号非通知でかけてきた場合	81
3.6.7	切断時の理由表示	82
	● 理由表示と対応の例	83
3.6.8	不在設定	84
	● 不在設定を行う【不在動作＝個別着信拒否】	84
	● 不在設定を解除する【不在動作＝個別着信拒否】	84
	● 電話をかけた側の表示【不在動作＝個別着信拒否】	84
	● 不在設定を行う【不在動作＝レジスト解除】	85
	● 不在設定を解除する【不在動作＝レジスト解除】	85
	● 電話をかけた側の表示【不在動作＝レジスト解除】	86
3.6.9	ヘッドセットを使用する	87
	● ヘッドセットモードで発信する	87
	● ヘッドセットモードで着信応答する（自動応答機能を「自動応答しない」に設定した場合）	89
	● ヘッドセットモードで着信応答する（自動応答機能を「自動応答する」に設定した場合）	90
3.6.10	ASPサーバを使用して文字情報を表示する	91
	● 電話機操作により文字情報を表示する	91
	● ASPサーバからの起動により文字情報を表示する	92
3.6.11	ワンタッチサービス特番	93
	● (例) パターン1で、待機中にサービスを開始する場合	93
	● (例) パターン1で、待機中にサービスを停止する場合	95
3.6.12	通話中に履歴情報を表示する	96
3.6.13	BLF	97
	● 外線番号の使用状況の表示	97
	● 該当する外線番号に発信する	97
3.6.14	クリック to アンサー	99
3.7	メモリ登録	101
3.7.1	電話帳の登録	101
	● 電話帳に新規で登録する	101
	● 履歴の内容を電話帳に登録する	104
	● 電話帳の内容を修正する	106
	● 電話帳の内容を削除する	109
4.	付録	111
4.1	ダイヤルボタンで文字を入力する	111
	● 文字種別の切り替え	111

1. 本書の読み方

本書は、本製品の使い方(電話のかけ方や受け方など)について説明するものです。
本書で使用している記号や表記は、次の通りとなっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

● 表記について

表記の例	内容
着信	ランプ(LED)の名称を示します。
[転送]	操作するボタンの名称を示します。
(注1)	他の方法や注意を要する事項がありますので、該当する説明をお読みください。

● 用語／機能について

語句	内容
SIPサーバ	SIPプロトコルをサポートした通信制御装置で、従来の交換機(ボタン電話主装置)相当の交換制御や音声処理を行います。
GW (ゲートウェイ)	加入電話網(アナログ回線・ISDN回線)をIP電話機に接続するためのインタフェース装置です。本システムのGW装置は、ユーザ拠点に設置されます。
パーク保留機能	SIPサーバ側で通話を保留し、そのグループに属する電話機から応答(保留を解除)することができます。
不在設定機能	離席や外出など電話に出られない場合、本機能を有効にすることで、着信を受け付けないようにすることができます。
盗聴防止通話機能	相手の電話機に対して送受信されるIPパケット(音声情報)を暗号化することで、通話内容を盗聴されにくくすることができます。 本機能の利用は内線及びVPNで接続される本製品相互で、かつプログラマブルキーに[盗聴防止]ボタンを割付ける必要があります。 また、接続するサーバによっては本機能が使えないことがありますので、通信システムの管理者や工事者に確認してください。
NAT 越え機能	本製品をルータを介してインターネットに接続時、STUNサーバと連携することでルータ情報(WAN側のIPアドレスとポート番号)を取得し相手端末と通話可能となります。 VPN回線、VPNルータを使用しなくても通話が可能となります。 NAT越え機能をご使用になる際は通信システムの管理者や工事者に確認してください。

● データ設定について

本製品を運用開始する場合や機能設定を変更する場合は、電話機毎に必要なデータを設定、変更する必要があります。データ設定については、別冊の「工事説明書(設定編)」を参照ください。
また本書では、標準的な運用を想定したデータ設定がなされているものとして説明しています。システムによっては、本書の説明と異なることがありますので、通信システムの管理者や工事者に確認してください。

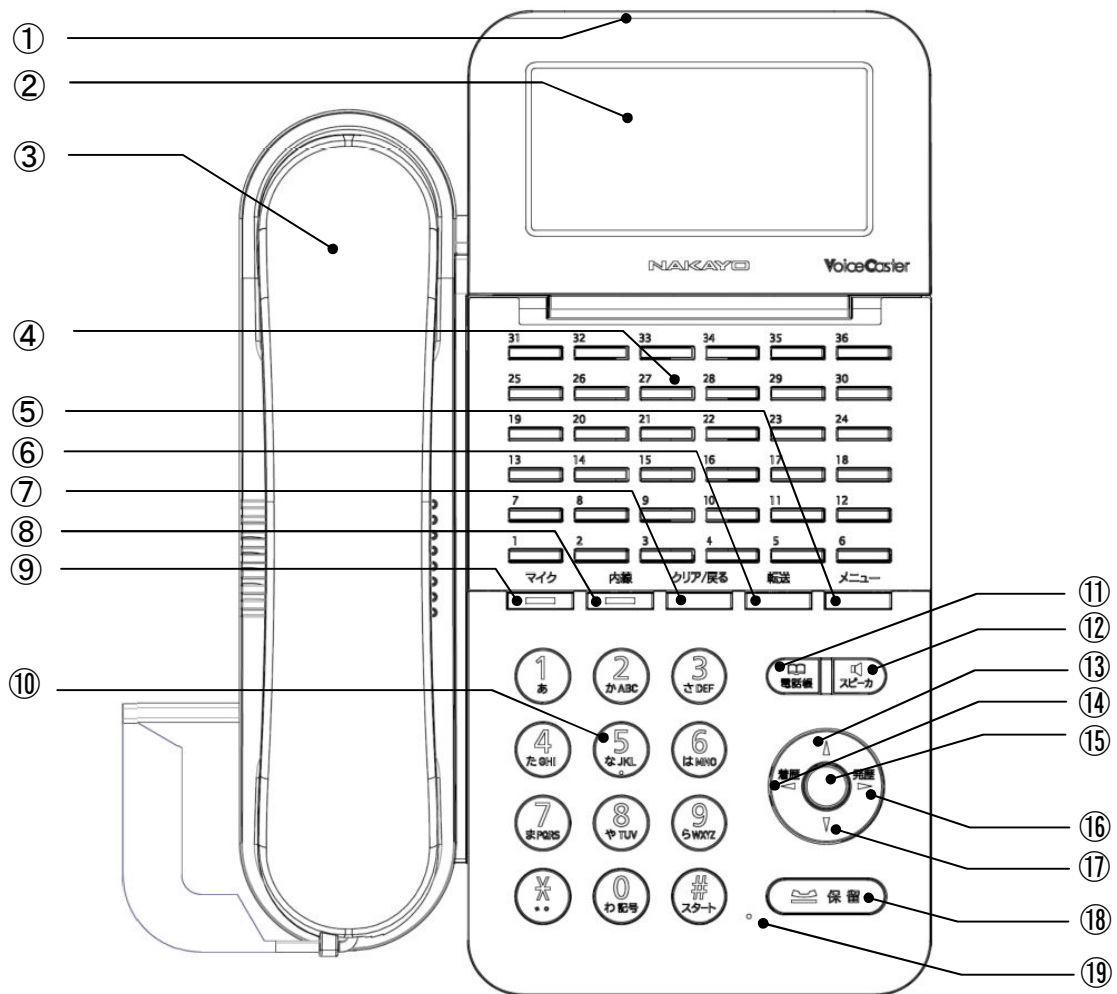
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- データを誤って設定すると、本製品の機能が制限されたり、通話ができなくなる等の不都合を生じることがあります。データの設定や変更は、通信システムの管理者や工事者に依頼するか、指示を受けて実施してください。

2. 各部の名称とはたらき

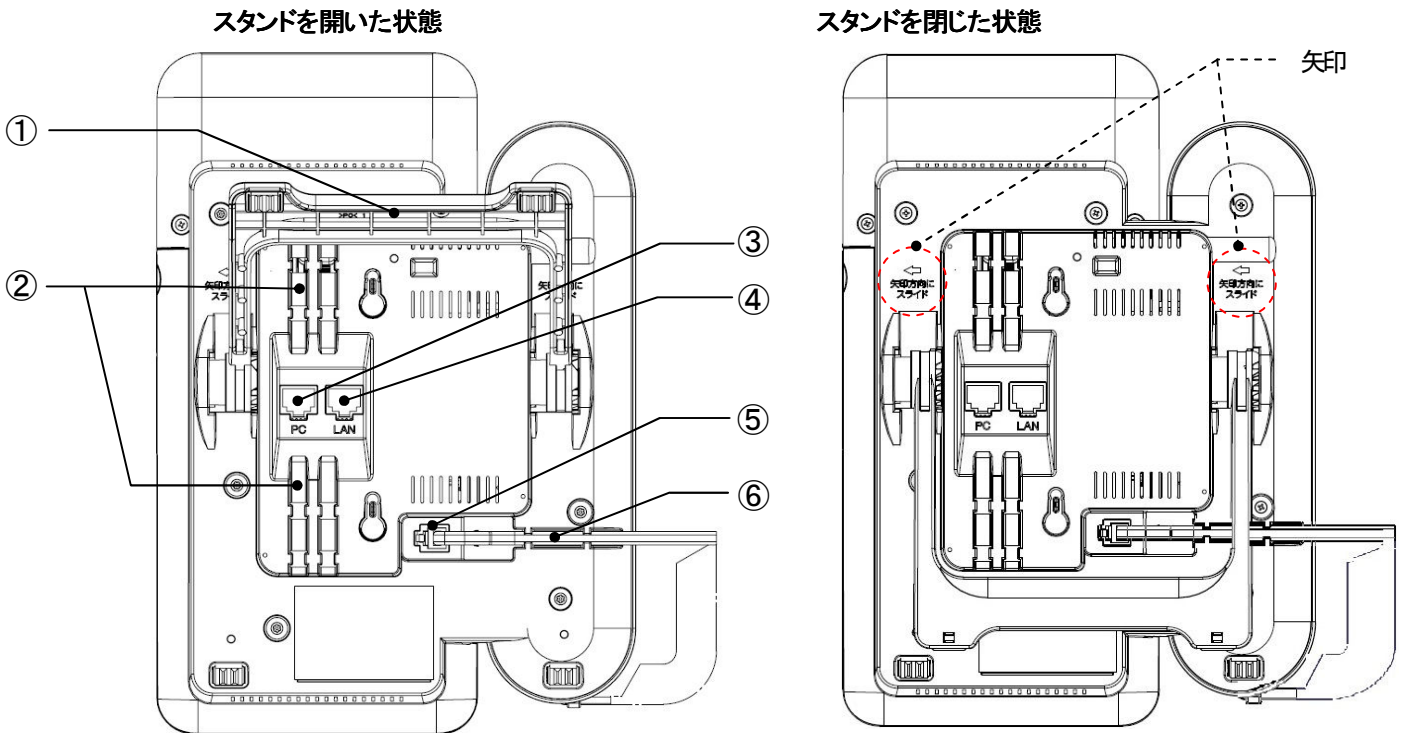
● 外観と名称



- ① 着信ランプ : 着信状態や不在状態を表示します。
- ② 表示器(LCD) : 電話機の状態やダイヤル番号などを表示します。(全角10桁、半角20桁×6行)
 - ・ 操作時にバックライトが点灯し、操作終了後約20秒経過すると消灯します。(初期値)
 - ・ 表示器の角度を調節できます。
- ③ 送受器(ハンドセット) : 相手とお話するときや、発信/終話の操作に使います。
- ④ プログラムブルキー : 不在/代表着信/ワンタッチダイヤル/パーク保留/盗聴防止/ラインキーなど、サービスの起動や状態表示に使います。(任意の位置に割付けすることができます。またLED(緑/赤)により状態を表示します。)
- ⑤ [メニュー]ボタン : データ設定に使います。また、文字入力時のモード切り替え(漢、仮、英、数、カナ、エイ、スウ)に使います。
- ⑥ [転送]ボタン : 通話の転送に使います。
- ⑦ [クリア/戻る]ボタン : 前の操作に戻るときや入力内容を消去するときに使います。
- ⑧ [内線]ボタン : 内線発信の指定や内線着信の表示に使います。
- ⑨ [マイク]ボタン : ハンズフリー通話に使います。
- ⑩ ダイヤルボタン ([0]~[9]、[*]、[#]) : 電話をかけるときや、データ設定(電話帳の文字入力を含む)に使います。
- ⑪ [電話帳/短縮]ボタン : 電話帳による発信、電話帳の登録(500件)や検索などに使います。また、短縮ダイヤル(電話帳)による発信や電話帳検索をするときに使います。
- ⑫ [スピーカ]ボタン : スピーカで通話を聞いたり、発信/終話の操作に使います。また送受器で通話しているときにこのボタンを押すと送話ミュートになります。
- ⑬ [△(音量)]ボタン : 各音量を上げるときや、カーソルボタンとして使います。
- ⑭ [◀(着信履歴)]ボタン : 着信履歴(20件)を表示するときに使います。また、カーソルボタンとしても使います。
- ⑮ [設定/決定]ボタン : 電話機の各種データ設定や、選択した機能を決定するときに使います。
- ⑯ [▶(発信履歴)]ボタン : 発信履歴(20件)を表示するときに使います。また、カーソルボタンとしても使います。
- ⑰ [▽(音量)]ボタン : 各音量を下げる時や、カーソルボタンとして使います。
- ⑱ [保留]ボタン : 外線および内線の通話を保留するときに使います。
- ⑲ マイク : ハンズフリー通話時のマイクとして使用します。

2. 各部の名称とはたらき

● 外観と名称



- | | |
|-----------------------|---|
| ① スタンド | : 設置時に電話機の傾きを調整します。
スタンドを開く時は矢印の方向にスライドしてください。 |
| ② LANケーブル用溝 | : PCポート及びLANポートに接続しているLANケーブルをこの溝に通します。 |
| ③ PCポートコネクタ | : 必要に応じてパソコン(PC)等のクライアント機器を接続します。(10/100BASE) |
| ④ LANポートコネクタ | : ネットワークと接続します。(10/100BASE) |
| ⑤ ハンドセット及びヘッドセット用ジャック | : ハンドセットコード及びヘッドセットのプラグを差し込みます。 |
| ⑥ ハンドセット及びヘッドセットコード用溝 | : ハンドセットコード及びヘッドセットコードをこの溝に通します。 |

● プログラマブルキーへの割付け機能 (注1)

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| ・ [ワンタッチダイヤル] | : 電話帳と連携してワンタッチダイヤル発信を行います。 |
| ・ [外線ダイヤルイン着信] | : 外線からのダイヤルイン着信を表示します。 |
| ・ [代表着信] | : 外線/内線の代表グループへの着信を表示します。 |
| ・ [パーク保留] | : パーク保留の起動、状態表示、保留解除を行います。 |
| ・ [盗聴防止] | : 盗聴防止通話の開始/中止を行います。 |
| ・ [外線発信] | : 外線発信を行います。 |
| ・ [ヘッドセット使用] | : ハンドセット(通常モード)とヘッドセットモードを切り替えます。 |
| ・ [個別着信自動応答] | : 個別着信時の自動応答を行います。 |
| ・ [不在] | : 不在機能を利用するときに使います。 |
| ・ [ワンタッチサービス特番] | : サーバに登録されたサービスの開始/アクセス/停止を行います。 |
| ・ [ラインキー] | : ラインキー発信、ラインキー着信を行います。 |
| ・ [BLF] | : 登録した内線番号への発信および状態表示を行います。 |
| ・ [バーチャルライン] | : 複数の着信を一つにまとめて表示します。 |

注1: [ワンタッチダイヤル]、[代表着信]、異なるグループの[パーク保留]、[ラインキー]、[バーチャルライン]、異なるBLF番号の[BLF]は複数の割付けが可能です。

2. 各部の名称とはたらき

● ランプ表示の例

表示パターン	周期 [単位:秒]
消灯	
点灯	(連続)
点滅 (I-USE)	
点滅 (I-HOLD)	
点滅 (60INT)	
点滅 (120INT)	
点滅 (240INT)	

2. 各部の名称とはたらき

● ランプ表示と電話機状態 (1/2)

ランプ名称 (注1)	電話機状態	表示色	表示パターン
着信	着信中、FTP 書込中、保留警報中	赤	点滅(240INT)
	ネットワーク接続起動中、保留中、転送通話中、FTPログイン中、FTPアップロード中	赤	点滅(60INT)
	不在設定状態	赤	点灯
代表着信	代表着信中	赤	点滅(240INT)
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)
外線ダイヤルイン着信	外線ダイヤルイン着信中	赤	点滅(240INT)
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)
内線	内線着信中	赤	点滅(240INT)
	発信または通話中	赤	点滅(1-USE)
外線発信	発信または通話中	緑	点滅(1-USE)
保留	保留中	赤	点滅(60INT)
	保留警報中	赤	点滅(240INT)
パーク保留	他電話機による保留中	赤	点滅(60INT)
	自電話機による保留中	緑	点滅(1-HOLD)
	自電話機での保留警報	緑	点滅(240INT)
マイク	ハンズフリーモード	赤	点灯
スピーカ	スピーカ受話状態 ヘッドセットモード通話中 ハンドセット送話ミュート中	赤	点灯
盗聴防止	盗聴防止モード(起動側)	緑	点灯
	盗聴防止モード(被起動側)	緑	点滅(60INT)
ヘッドセット使用	ヘッドセットモード起動中	赤(注2)	点灯
個別着信自動応答	個別着信自動応答起動中	緑	点灯
ラインキー	他電話機による通話中、回線捕捉中	赤	点灯
	他電話機による保留中	赤	点滅(60INT)
	ラインキー着信中	赤	点滅(240INT)
	ワンタッチサービス起動中	緑	点灯
	自電話機で通話中、回線捕捉中、着信応答	緑	点滅(1-USE)
	自電話機による保留中	緑	点滅(1-HOLD)
バーチャルライン	バーチャルライン着信中	赤	点滅(240INT)
	自電話機で通話中	緑	点滅(1-USE)

2. 各部の名称とはたらき

● ランプ表示と電話機状態 (2/2)

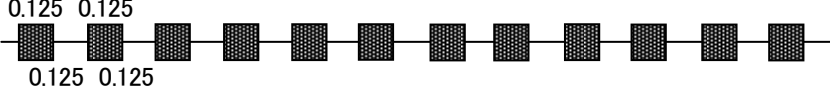

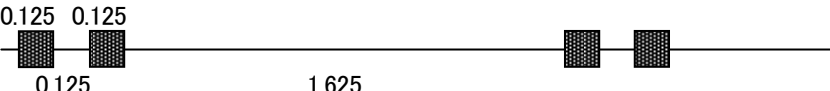
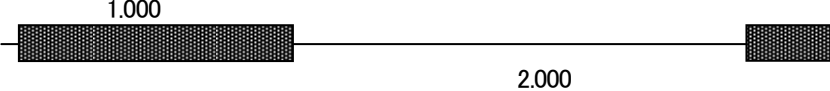
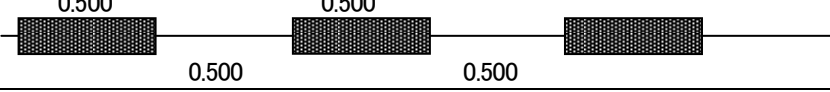

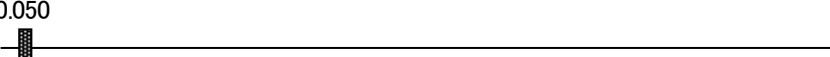
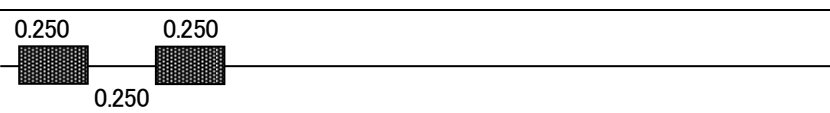
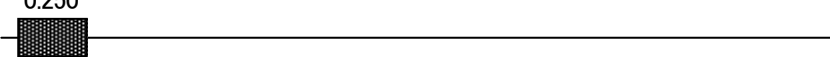
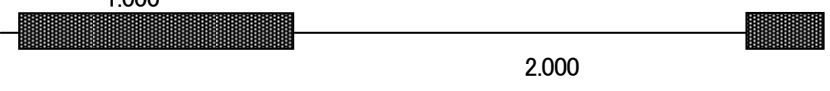
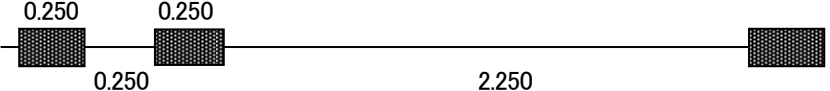
ランプ名称 (注1)	電話機状態	表示色	表示パターン
ワンタッチサービス特番	サービス起動中	赤	点灯
	サービスアクセス中	緑	点滅(I-USE)
情報表示	ASPサーバ接続待ち	赤	点灯
	ASPサーバ接続待ち-文字情報有り	赤	点滅(120INT)
	ASPサーバ接続中	緑	点灯
不在	レジスト解除設定中、不在状態	赤	点灯
	レジスト応答待ち、レジスト解除応答待ち	赤	点滅(60INT)
BLF	NOTIFY(g_on)受信	緑	点灯
	NOTIFY(g_iuse)受信	緑	点滅(I-USE)
	NOTIFY(g_60int)受信	緑	点滅(60INT)
	NOTIFY(g_240int)受信	緑	点滅(240INT)
	NOTIFY(g_ihold)受信	緑	点滅(I-HOLD)
	NOTIFY(confirmed)受信	赤	点灯
	NOTIFY(r_iuse)受信	赤	点滅(I-USE)
	NOTIFY(r_60int)受信	赤	点滅(60INT)
	NOTIFY(early)受信	赤	点滅(240INT)

注1: 着信、内線、保留、マイク、スピーカ、情報表示以外のランプは、プログラマブルキーとしての機能割付けが必要です。

注2: データ設定の「自動応答機能」が「自動応答する」の場合は、緑点灯になります。(初期値: 自動応答しない)


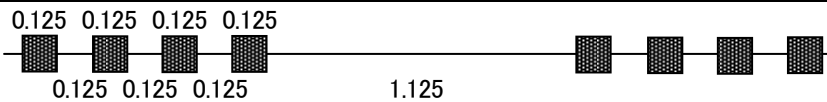
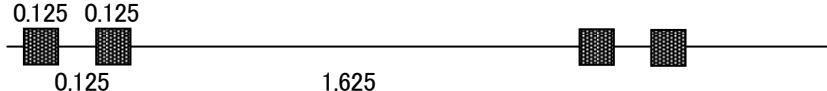
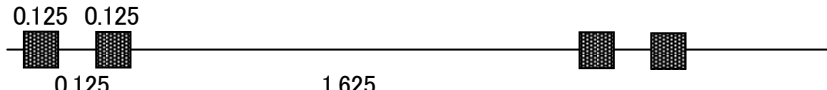
2. 各部の名称とはたらき

● トーン表示の例 (1/2)

トーン種別	周期 [単位: 秒]
内線発信音 (SDT) [400Hz]	0.125 0.125 
外線発信音 (DT) [400Hz]	(連続) 
ウェーティング トーン(WT) [400Hz]	0.125 0.125 0.125 1.625 
呼出音 (RBT) [400Hz/16Hz 変調]	1.000 2.000 
話中音 (BT) [400Hz]	0.500 0.500 0.500 0.500 
ハウラー音 (HOW) [2800Hz]	(連続) 
キー押下確認音 [1000Hz]	0.050 
自動応答音 [500Hz]	0.250 0.250 0.250 
ボリューム 確認音 [666Hz/16Hz 変調]	0.250 
外線着信音 (IR) (ダイヤルイン着信音) (代表着信音) (バーチャルライン着信音) A:[666Hz/16Hz 変調] B:[500Hz/32Hz 変調] C:[800Hz/16Hz 変調] D:[587Hz/16Hz 変調] E:[743Hz/16Hz 変調] F:[743Hz/32Hz 変調] G:[825Hz/40Hz 変調] H:[880Hz/32Hz 変調] I:[493Hz、622Hz/32Hz 変調] J:[554Hz、830Hz/16Hz 変調]	1.000 2.000 
内線着信音 (SIR) A:[1000Hz/32Hz 変調] B:[800Hz/128Hz 変調] C:[1000Hz/256Hz 変調] D:[666Hz/128Hz 変調] E:[500Hz/128Hz 変調] F:[587Hz/16Hz 変調] G:[743Hz/16Hz 変調] H:[880Hz/32Hz 変調] I:[1244Hz、1567Hz/16Hz 変調] J:[1479Hz、1864Hz/32Hz 変調]	0.250 0.250 0.250 2.250 

2. 各部の名称とはたらき

● トーン表示の例 (2/2)

トーン種別	周 期	[単位:秒]
保留音 (注1) (メロディ)	(連続) 	
保留警報音 (注1) [666Hz/16Hz 変調]		
ASPアラームA [1000Hz]		
ASPアラームB [2000Hz]		

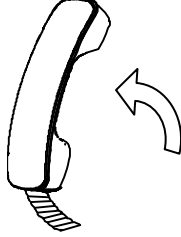

注1: 保留音及び保留警報音は、本製品から送出した場合を示します。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）

3.1 内線に電話をかける

内線発信にはいくつかの方法がありますので、使いやすい方法を選んでください。

3.1.1 送受器をあげてかける（オフフック内線発信）

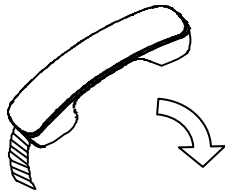
	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 477 1152 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ダイヤル?</div>
	<p>手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。(注2) (例) 相手先内線番号=2000の場合</p> <div data-bbox="735 797 1152 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ダイヤル? 2000</div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。</p>
	<p>手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	<p>手順4: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="735 1308 1152 1520" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">12月1日 (木) pm 4:01 2000 00' 10</div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によっては外線発信音となることがあります。この場合、外線発信音を聞いている状態で[内線]ボタンを押してください。

注2: 「内線(個別)呼出」と「内線代表(一斉)呼出」は、電話番号によって指定されます。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）



手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・内線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。



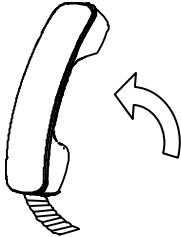
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）

3.1.2 送受器をおろしたままかける（オンフック内線発信）

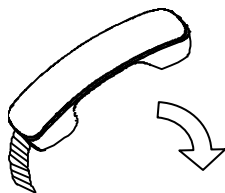
	<p>手順1: [スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・スピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="738 389 1155 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
	<p>手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。(注2) (例) 相手先内線番号=2000の場合</p> <div data-bbox="738 707 1155 920" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 2000</div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 <p>手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、再度[スピーカ]ボタンを押します。
	<p>手順4: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。</p> <div data-bbox="738 1234 1155 1447" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:01 2000 00' 10</div> <ul style="list-style-type: none">・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によっては外線発信音となることがあります。この場合、外線発信音を聞いている状態で[内線]ボタンを押してください。

注2: 「内線(個別)呼出」と「内線代表(一斉)呼出」は、電話番号によって指定されます。

3. 電話機の使い方（内線に電話をかける）



手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・内線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

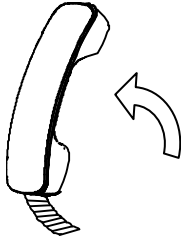
3.2 外線に電話をかける

外線発信にはいくつかの方法がありますので、使いやすいかけ方を選んでください。

3.2.1 ラインキーを使用しないで外線に電話をかける

3.2.1.1 送受器をあげてかける（オフフック外線発信）

- 外線発信特番を使う

	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="738 645 1155 857" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>												
<div data-bbox="373 913 443 981" style="text-align: center;">0 わ配号</div> <p style="text-align: center;">外線発信特番</p>	<p>手順2: ダイヤルボタンを用いて外線発信特番を入力します。(注2)(注3)</p> <p>(例) 外線発信特番=0の場合は[0]をダイヤルします。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。・内線ランプが消灯し、外線発信ランプが緑点滅(I-USE)します。(注4)												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"><tr><td>1 あ</td><td>2 かABC</td><td>3 さDEF</td></tr><tr><td>4 たGHI</td><td>5 なJKL</td><td>6 はMNO</td></tr><tr><td>7 まPQRS</td><td>8 やTUV</td><td>9 らWXYZ</td></tr><tr><td>* .**</td><td>0 わ配号</td><td># スタート</td></tr></table>	1 あ	2 かABC	3 さDEF	4 たGHI	5 なJKL	6 はMNO	7 まPQRS	8 やTUV	9 らWXYZ	* .**	0 わ配号	# スタート	<p>手順3: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注5)</p> <p>(例) 相手先電話番号=05001234567の場合</p> <div data-bbox="738 1144 1155 1357" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 05001234567</div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。 <p>手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
1 あ	2 かABC	3 さDEF											
4 たGHI	5 なJKL	6 はMNO											
7 まPQRS	8 やTUV	9 らWXYZ											
* .**	0 わ配号	# スタート											

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注2: データ設定より外線発信特番の外線捕捉特番入力を“なし”に設定した場合は、[外線発信]ボタンから発信してください。

注3: データ設定より外線発信特番の外線捕捉自動付加を“有効”にした場合は、外線発信特番もダイヤル番号として付加します。

注4: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

注5: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

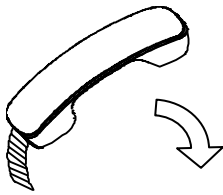
手順5: 相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:01
05001234567
00'10

- ・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）

手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

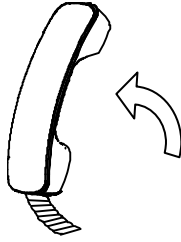

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

● [外線発信]ボタンを使う

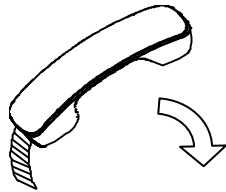
	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="737 392 1155 604" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ダイヤル? </div>
<div data-bbox="295 667 491 723" style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">外線発信</div>	<p>手順2: [外線発信]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。 ・内線ランプが消灯し、外線発信ランプが緑点滅(I-USE)します。
	<p>手順3: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) (例) 相手先電話番号＝05001234567の場合</p> <div data-bbox="737 853 1155 1066" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ダイヤル? 05001234567 </div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。</p>
	<p>手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	<p>手順5: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="737 1377 1155 1590" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 12月1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10 </div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注2: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）



手順6: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い



次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話が終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.1.2 送受器をおろしたままかける（オンフック外線発信）

- [スピーカ]ボタン押下後に [外線発信]ボタンまたは外線発信特番を使う

	<p>手順1: [スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・スピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに「ダイヤル?」の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 461 1153 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
<div data-bbox="240 725 384 763" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">外線発信</div>  <p style="text-align: center;">外線発信特番</p>	

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信外線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

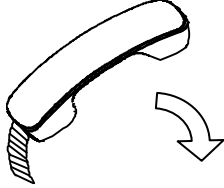
注2: データ設定より外線発信特番の外線捕捉特番入力を“なし”に設定した場合は、[外線発信]ボタンから発信してください。

注3: データ設定より外線発信特番の外線捕捉自動付加を“有効”にした場合は、外線発信特番もダイヤル番号として付加します。

注4: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

注5: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、登録してある「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）



手順6: お話が終わったら送受器をおろします。


- ・[外線発信]ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

● [外線発信]ボタンまたは外線発信特番で発信する


外線発信



手順1: [外線発信]ボタンまたは外線発信特番(例:[0])を押します。
(注1)(注2)(注3)

- ・スピーカから「ツー」という外線発信音が聞こえます。
- ・[外線発信]ランプが緑点滅(I-USE)します。(注4)
- ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。

ダイヤル?



手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注5)
(例)相手先電話番号=05001234567の場合

ダイヤル?
05001234567

・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。
短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。

手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。

- ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。
- ・発信を中止する場合は、[スピーカ]ボタンを押します。

(次ページに続く)

注1: 外線発信特番で発信するには、あらかじめデータ設定で「ワンタッチ外線捕捉」を「捕捉する」に設定する必要があります。

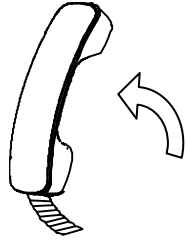
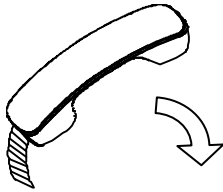
注2: データ設定より外線発信特番の外線捕捉特番入力を“なし”に設定した場合は、[外線発信]ボタンから発信してください。

注3: データ設定より外線発信特番の外線捕捉自動付加を“有効”にした場合は、外線発信特番もダイヤル番号として付加します。

注4: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

注5: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

	<p>手順4: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。</p> <div data-bbox="737 293 1153 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>12月1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10</p></div> <p>・通話時間が表示されます。 （“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。）</p>
	<p>手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。</p> <ul style="list-style-type: none">・外線発信ランプが消灯します。・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 <div data-bbox="737 719 1153 931" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>12月1日 (木) pm 4:05 4000</p></div> <p>・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。</p>

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

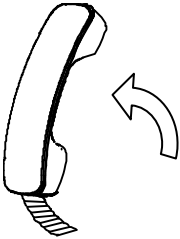

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.2 ラインキーを使用して外線に電話をかける

ラインキー機能はラインキー対応SIPサーバ接続時のみ使用できる機能です。ラインキー機能を使用する場合は、あらかじめ[ラインキー]ボタンを割付けておく必要がありますので、通信システムの管理者や工事者に確認してから使用してください。

3.2.2.1 送受器をあげてかける（オフフック外線発信）

- [ラインキー]ボタンを使う

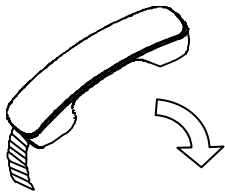
	<p>手順1: 送受器をあげます。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器から「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="737 607 1155 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
<div data-bbox="306 904 501 958" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ラインキー</div>	<p>手順2: [ラインキー]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・LCDに、設定した回線番号が表示されます。・送受器からの発信音が「ツー」という外線発信音に変わります。・内線ランプが消灯し、ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。
	<p>手順3: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2) (例) 相手先電話番号=05001234567の場合</p> <div data-bbox="737 1095 1155 1308" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 05001234567 (回線 01)</div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。
	<p>手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	<p>手順5: 相手がお話してください。</p> <div data-bbox="737 1659 1155 1872" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:01 05001234567 00'10</div> <ul style="list-style-type: none">・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)

(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。

注2: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）



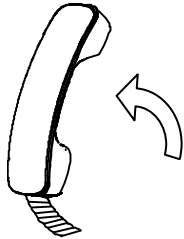
手順6: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・[ラインキー]ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

● [ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う



手順1: 送受器をあげます。(注1)(注2)

- ・送受器から「ツー」という外線発信音が聞こえます。
- ・[ラインキー]ランプが緑点滅(I-USE)します。
- ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。
- ・LCDに設定した回線番号が表示されます。

ダイヤル?

(回線 01)



手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3)

(例) 相手先電話番号=05001234567の場合

ダイヤル?
05001234567
(回線 01)

- ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。

手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。

- ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。
- ・発信を中止する場合は、送受器をおろします。

(次ページに続く)

注1: あらかじめデータ設定で「発信回線種別選択」を「外線発信」に設定する必要があります。

注2: あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

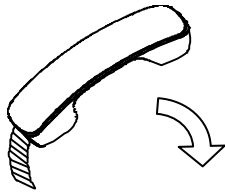
注3: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

手順4: 相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:01
05001234567
00'10

・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）



手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・ラインキーランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い



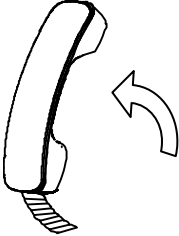
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）

3.2.2.2 送受器をおろしたままかける（オンフック外線発信）

- [スピーカ]ボタン押下後に [ラインキー]ボタンを使う

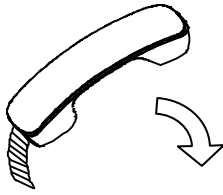
	<p>手順1:[スピーカ]ボタンを押します。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・スピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="737 461 1155 674" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
<div data-bbox="301 759 496 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ラインキー</div>	<p>手順2:[ラインキー]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・LCDに、設定した回線番号が表示されます。・スピーカからの発信音が「ツ」という外線発信音に変わります。・内線ランプが消灯し、ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。
	<p>手順3:ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注2)</p> <p>(例)相手先電話番号=05001234567の場合</p> <div data-bbox="737 954 1155 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 05001234567 (回線 01)</div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。</p> <p>手順4:相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合、再度[スピーカ]ボタンを押します。
	<p>手順5:相手 がでたら送受器をあげてお話しください。</p> <div data-bbox="737 1518 1155 1731" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:01 05001234567 00' 10</div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>

(次ページに続く)

注1:データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。

注2:入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）



手順6: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・[ラインキー]ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

● [ラインキー]ボタンを使わずにラインキー発信を行う



手順1: [スピーカ]ボタンを押します。(注1)(注2)

- ・スピーカから「ツー」という外線発信音が聞こえます。
- ・[ラインキー]ランプが緑点滅(I-USE)します。
- ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。
- ・LCDに設定した回線番号が表示されます。

ダイヤル?
(回線 01)

手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。(注3)
(例) 相手先電話番号=05001234567の場合

ダイヤル?
05001234567
(回線 01)

- ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。



手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。

- ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。
- ・発信を中止する場合、再度[スピーカ]ボタンを押します。

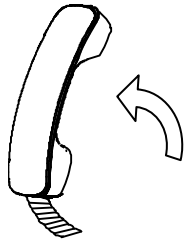
(次ページに続く)

注1: あらかじめデータ設定で「発信回線種別選択」を「外線発信」に設定する必要があります。

注2: あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

注3: 入力したダイヤルの先頭が“0”及び“1”以外の場合、設定された「市外局番」を自動的に付加して発信します。

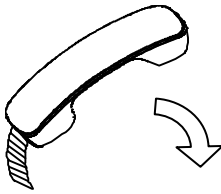
3. 電話機の使い方（外線に電話をかける）



手順4: 相手がでたら送受器をあげてお話しください。

12月1日 (木) pm 4:01
05001234567
00'10

・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）



手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。

・ラインキーランプが消灯します。
・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:05
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）


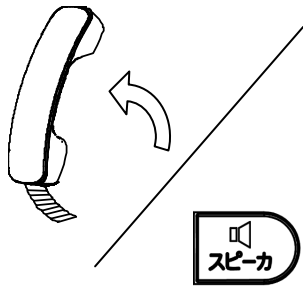
3.3 その他の電話のかけ方

3.3.1 ダイヤルの内容を確認してからかける（プリセットダイヤル）

プリセットダイヤル発信は、入力したダイヤル内容を確認した後に、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことで、発信を開始する機能です。(注1)

● ラインキー発信以外でのプリセットダイヤル方法

ここでは、外線発信の場合について説明します。外線発信の場合も同じ方法でかけることができます。

	<p>手順1: 待機状態から直接相手の電話番号を入力します。(注2) (例) 相手先電話番号=05009876543の場合</p> <div data-bbox="734 582 1149 795" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>プリセットダイヤル 05009876543</p></div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと待機状態に戻ります。</p>
	<p>手順2: 入力したダイヤル内容を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。</p> <div data-bbox="734 996 1149 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:07 05009876543</p></div> <p>・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプが点滅(I-USE)します。(注3) ・発信を中止する場合、送受器をおろすか再度[スピーカ]ボタンを押します。</p>
	<p>手順3: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="734 1388 1149 1612" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:07 05009876543 00' 10</p></div> <p>・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>

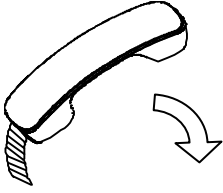
(次ページに続く)

注1: プリセットダイヤルを利用する場合は、データ設定の「ワンタッチ外線捕捉」を「捕捉しない」に設定する必要があります。

注2: プリセットダイヤルで発信する場合は、市外局番からダイヤルしてください。データ設定(市外局番)は、プリセットダイヤルでは無効となります。

注3: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）



手順4: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:08
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

● ラインキー発信でのプリセットダイヤル方法

ここでは、ラインキー発信の場合について説明します。(注1)(注2)

	<p>手順1: 待機状態から直接相手の電話番号を入力します。(注3) (例) 相手先の電話番号=05009876543の場合</p>
	<div data-bbox="735 947 1152 1155"><p>プリセットダイヤル 05009876543</p></div>
	<p>手順2: 入力したダイヤル内容を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。</p>
	<div data-bbox="735 1373 1152 1581"><p>12月1日 (木) pm 4:06 05009876543 (回線 01)</p></div>

・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと待機状態に戻ります。

・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。

・ラインキーランプが緑点滅(I-USE)します。

・発信を中止する場合、送受器をおろすか再度[スピーカ]ボタンを押します。

(次ページに続く)

注1: あらかじめ[ラインキー]ボタンを割付ける必要があります。

注2: あらかじめデータ設定で「ラインキー設定(発信捕捉)」を「発信捕捉する」に設定する必要があります。

注3: プリセットダイヤルで発信する場合は、市外局番からダイヤルしてください。データ設定(市外局番)は、プリセットダイヤルでは無効となります。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

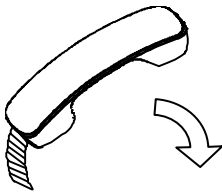
手順3：相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:07
05009876543
00'10

- ・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。
- ・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）

手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・ラインキーランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (木) pm 4:08
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- ダイヤルの途中で、約20秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

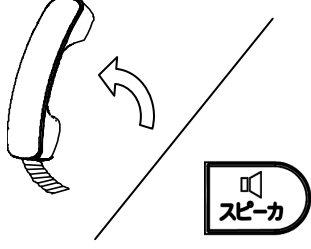

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.2 直前にかけた相手にかけ直す（リダイヤル）

	<p>手順1: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器もしくはスピーカから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注1)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="734 414 1149 627" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
	<p>手順2: [▷(発信履歴)]ボタンを押すと、直前に発信した相手先の電話番号にただちに発信します。(注2)</p> <ul style="list-style-type: none">・発信を開始すると、電話番号が表示されます。 <p>(例) 直前の発信=05009876543の場合</p> <div data-bbox="734 840 1149 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:07 05009876543</div> <ul style="list-style-type: none">・外線発信の場合、内線ランプが消灯し 外線発信ランプが緑点滅(I-USE)します。(注3)・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、送受器をおろすか[スピーカ]ボタンを押します。
	<p>手順3: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="734 1299 1149 1512" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:08 05009876543 00' 10</div> <ul style="list-style-type: none">・[スピーカ]ボタンを押した場合は、送受器をあげます。・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)

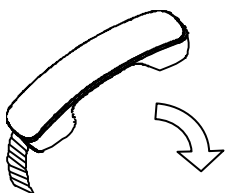
(次ページに続く)

注1: データ設定(発信回線種別選択)によっては外線発信音となることがあります。

注2: 最新の発信履歴内容で発信します。また発信履歴の内容がクリアされていた場合は、表示や発信をしません。

注3: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）



手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:11
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。




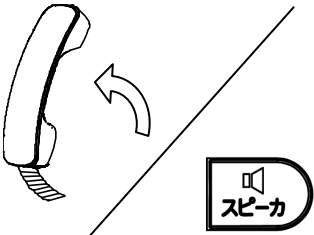
- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.3 発信履歴／着信履歴を検索してかける（履歴ダイヤル）

発信履歴は電話をかけた相手先と日時が、着信履歴はかかってきた電話の相手と日時が、それぞれ20件記録されます。また、それらの履歴を使用して、簡単に電話をかけ直すことができます。

● 履歴内容の表示と発信

	<p>手順1: 待機状態から[◀(着信履歴)]ボタンまたは[▶(発信履歴)]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の名称/電話番号/ディスプレイネームが6件ずつ表示されます。 <table border="1" data-bbox="735 499 1152 712"> <tr><td>01</td><td>未</td><td>0312345678</td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪 支社</td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td>2300</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 電話帳の登録内容と一致した場合、名称が表示されます。 応答しなかった(未応答であった)場合、“未”が反転表示されます。 	01	未	0312345678	02		本社 営業	03	未	大阪 支社	04		2000	05		2200	06		2300
01	未	0312345678																	
02		本社 営業																	
03	未	大阪 支社																	
04		2000																	
05		2200																	
06		2300																	
	<p>手順2: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、目的の履歴を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="735 891 1152 1104"> <tr><td>01</td><td>未</td><td>0312345678</td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪 支社</td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td>2300</td></tr> </table>	01	未	0312345678	02		本社 営業	03	未	大阪 支社	04		2000	05		2200	06		2300
01	未	0312345678																	
02		本社 営業																	
03	未	大阪 支社																	
04		2000																	
05		2200																	
06		2300																	
	<p>手順3: [設定/決定]ボタンを押すと、記録日時が24時間制で表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="735 1223 1152 1435"> <tr><td>02</td><td>発</td><td>12/1 (木)</td><td>16:00</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>本社 営業</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>5000</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、前後の履歴を表示します。 	02	発	12/1 (木)	16:00			本社 営業				5000							
02	発	12/1 (木)	16:00																
		本社 営業																	
		5000																	
	<p>手順4: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、表示された相手先に発信を開始します。</p> <table border="1" data-bbox="735 1615 1152 1827"> <tr><td>12月1日 (木)</td><td>pm</td><td>4:07</td></tr> <tr><td>本社 営業</td><td></td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 発信せず、履歴表示を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを2回押します。 内容表示中、約20秒以内に次の操作を行わないと、待機状態に戻ります。 外線発信ランプまたは内線ランプが点滅(I-USE)します。(注1) 	12月1日 (木)	pm	4:07	本社 営業														
12月1日 (木)	pm	4:07																	
本社 営業																			

(次ページに続く)

注1: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

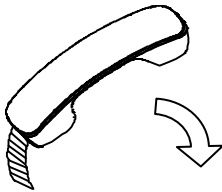
手順5: 相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:08
本社営業
00'10

- ・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。
- ・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）

手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・**外線発信**ランプまたは**内線**ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (木) pm 4:11
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 履歴内容表示中、約20秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

● 履歴内容の消去



手順1: 待機状態から[◀(着信履歴)]ボタンまたは[▶(発信履歴)]ボタンを押します。

・相手の名称/電話番号/ディスプレイネームが6件ずつ表示されます。

01	未	0312345678
02		本社 営業
03	未	大阪 支社
04		2000
05		2200
06		2300



メニュー



手順2: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、消去する履歴を選択します。

01	未	0312345678
02		本社 営業
03	未	大阪 支社
04		2000
05		2200
06		2300

手順3: [メニュー]ボタンを押すと、「登録/削除」画面が表示されます。

1	電話帳登録
2	1件削除
3	全件削除

手順4: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、消去条件を選択し、[設定/決定]ボタンを押します。

1	電話帳登録
2	1件削除
3	全件削除

手順5: 「消去確認」画面で「削除する」を選択し、[設定/決定]ボタンを押します。

発信履歴削除	
1	削除しない
2	削除する

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

手順6：削除が完了すると、消去した履歴よりも古い番号の履歴が繰り上がります。

01	未	0312345678
02	未	大阪支社
03		2000
04		2200
05		2300
06		2400

手順7：[クリア/戻る]ボタンを押すことで、待機状態に戻ります。

クリア/戻る

12月1日 (木) pm 4:15
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。




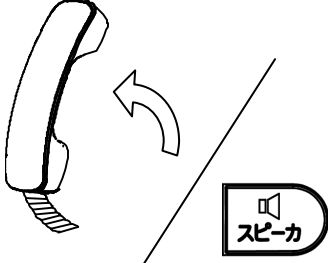
- 履歴内容表示中、約20秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.4 電話帳内容を検索してかける（短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル）

電話帳に登録された内容をメモリ番号／名称(フリガナ)／グループ毎に検索して、選択した相手先に発信します。(電話帳は最大500件の登録が可能です。登録操作は“3.7 メモリ登録”を参照してください。)

● メモリ番号で検索してかける（短縮ダイヤル）

	<p>手順1: 待機状態から[電話帳/短縮]ボタンを2回押すと、「メモリ番号」検索画面が表示されます。</p> <div data-bbox="732 508 1150 719"><p>メモリ番号検索 No. ? ■</p></div> <p>・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」と表示されます。</p>												
 	<p>手順2: ダイヤルボタンで3桁のメモリ番号([0][0][0]~[4][9][9])を入力し、[設定/決定]ボタンを押すか、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的の相手先を選択します。</p> <div data-bbox="732 925 1150 1135"><p>メモリ番号検索 No. ? 03 ■</p></div> <div data-bbox="732 1153 1150 1364"><table border="1"><tr><td>031</td><td>高崎営業所</td></tr><tr><td>032</td><td>千葉営業所</td></tr><tr><td>033</td><td>筑波営業所</td></tr><tr><td>034</td><td>横浜営業所</td></tr><tr><td>035</td><td>大宮営業所</td></tr><tr><td>036</td><td>十勝出張所</td></tr></table></div> <p>・表示は一例です。 ・メモリ番号1桁もしくは2桁でも検索できます。 1桁または2桁のメモリ番号を入力して[設定/決定]ボタンを押した場合、前方一致検索の結果が表示されます。 ・メモリ番号指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は「該当なし」と表示されます。</p>	031	高崎営業所	032	千葉営業所	033	筑波営業所	034	横浜営業所	035	大宮営業所	036	十勝出張所
031	高崎営業所												
032	千葉営業所												
033	筑波営業所												
034	横浜営業所												
035	大宮営業所												
036	十勝出張所												
	<p>手順3: 発信先を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。</p> <div data-bbox="732 1675 1150 1886"><p>12月1日 (木) pm 4:15 高崎営業所</p></div> <p>・<u>外線発信</u>ランプまたは<u>内線</u>ランプが点滅(I-USE)します。(注1)</p>												

注1: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

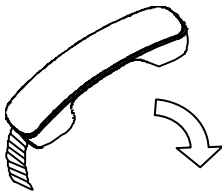
手順4：相手がでたらお話しください。

12月1日 (休) pm 4:15
高崎営業所
00'10

- ・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。
- ・通話時間が表示されます。
(“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)

手順5：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・**外線発信**ランプまたは**内線**ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (休) pm 4:15
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 電話帳内容の検索中、約60秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。



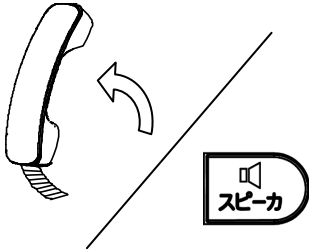
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

- 名称（フリガナ）を検索してかける（電話帳ダイヤル）

	<p>手順1: 待機状態から[電話帳/短縮]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1)</p> <div data-bbox="735 329 1153 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>■</p> <p>[カナ]</p> </div> <p>・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」と表示されます。</p>
	<p>手順2: ダイヤルボタンで先頭の文字を入力し、[設定/決定]ボタン押下でリストを表示した後、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的の相手先を選択します。(注2)</p> <div data-bbox="735 754 1153 1180" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>あ</p> <p>[カナ]</p> <p>高崎営業所</p> </div> <p>・表示は一例です。 ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」と表示されます。</p>
	<p>手順3: 発信先を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。</p> <div data-bbox="735 1386 1153 1597" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>12月1日 (木) pm 4:15</p> <p>高崎営業所</p> </div> <p>・<u>外線発信</u>ランプまたは<u>内線</u>ランプが点滅(I-USE)します。(注3)</p>

(次ページに続く)

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

注2: カナ指定の他、数字(スウ)やアルファベット(エイ)などでも検索できます。([メニュー]ボタンで切り替え)

注3: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

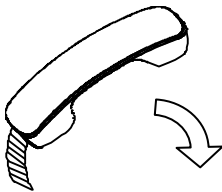
手順4: 相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:15
高崎営業所
00' 10

- ・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。
- ・通話時間が表示されます。
(“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)

手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (木) pm 4:15
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 電話帳内容の検索中、約60秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。




お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

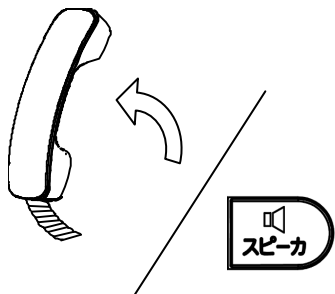
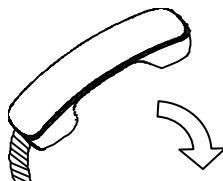
- グループで検索してかける

	<p>手順1: 待機状態から[電話帳/短縮]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1)</p> <div data-bbox="734 324 1149 537"><p>フリガナ検索</p><p>■</p><p>[カナ]</p></div> <p>・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」と表示されます。</p>																								
 (長押し)	<p>手順2: [電話帳/短縮]ボタンを約2秒間押すと、「グループ検索」画面に切り替わります。</p> <div data-bbox="734 694 1149 907"><table border="1"><tr><td>1</td><td>グループ</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>グループ</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>グループ</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>グループ</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>グループ</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>グループ</td><td>6</td></tr></table></div>	1	グループ	1	2	グループ	2	3	グループ	3	4	グループ	4	5	グループ	5	6	グループ	6						
1	グループ	1																							
2	グループ	2																							
3	グループ	3																							
4	グループ	4																							
5	グループ	5																							
6	グループ	6																							
	<p>手順3: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的のグループを選択して、[設定/決定]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="734 1019 1149 1232"><table border="1"><tr><td>1</td><td>グループ</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>グループ</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>グループ</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>グループ</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>グループ</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>グループ</td><td>6</td></tr></table></div> <p>・グループは、電話帳登録時に設定したものでグループ1～9まであります。 ・ダイヤルボタン([1]～[9])で直接選択することもできます。</p> <p>手順4: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的の相手先を選択します。</p> <div data-bbox="734 1444 1149 1668"><table border="1"><tr><td>佐藤部長</td></tr><tr><td>鈴木部長代理</td></tr><tr><td>高橋係長</td></tr><tr><td>角田主任</td></tr><tr><td>山田主任</td></tr><tr><td>吉田主任</td></tr></table></div> <p>・グループ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」と表示されます。</p>	1	グループ	1	2	グループ	2	3	グループ	3	4	グループ	4	5	グループ	5	6	グループ	6	佐藤部長	鈴木部長代理	高橋係長	角田主任	山田主任	吉田主任
1	グループ	1																							
2	グループ	2																							
3	グループ	3																							
4	グループ	4																							
5	グループ	5																							
6	グループ	6																							
佐藤部長																									
鈴木部長代理																									
高橋係長																									
角田主任																									
山田主任																									
吉田主任																									

(次ページに続く)

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1:グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。この場合、手順3に進んでください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

	<p>手順5: 発信先を確認し、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと発信を開始します。</p> <div data-bbox="734 324 1149 537" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:15 鈴木部長代理</div> <p>・[外線発信]ランプまたは[内線]ランプが点滅(I-USE)します。(注1)</p>
	<p>手順6: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="734 649 1149 862" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:15 鈴木部長代理 00'10</div> <p>・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)</p>
	<p>手順7: お話しが終わったら送受器をおろします。</p> <ul style="list-style-type: none">・[外線発信]ランプまたは[内線]ランプが消灯します。・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 <div data-bbox="734 1108 1149 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:15 4000</div> <p>・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。</p>

注1: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 電話帳内容の検索中、約60秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

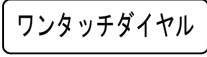
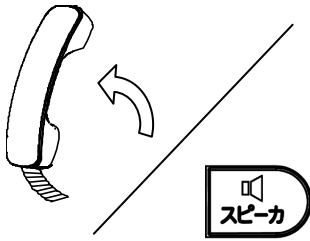
3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.5 ワンタッチダイヤルでかける（ワンタッチダイヤル）

[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すことで、簡単に電話をかけることができます。

データ設定で「ワンタッチ即時発信」を「発信する」に設定した場合、[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで発信を開始します。

- ワンタッチダイヤルの内容を確認してからかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】

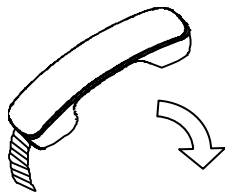
	<p>手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押します。 ・対応する電話帳の登録内容が表示されます。(注1)</p> <div data-bbox="737 533 1153 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:07 No=001 本社営業</p></div> <p>・変更する場合は、正しい[ワンタッチダイヤル]ボタンか[クリア/戻る]ボタンを押します。</p>
	<p>手順2: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。</p> <div data-bbox="737 913 1153 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:07 本社営業</p></div> <p>・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが点滅(I-USE)します。(注2) ・発信を中止する場合、送受器をおろすか再度[スピーカ]ボタンを押します。</p>
	<p>手順3: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="737 1339 1153 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:08 本社営業 00' 10</p></div> <p>・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>

(次ページに続く)

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]ボタンに電話帳が登録されていない場合、表示されません。

注2: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）



手順4: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・**外線発信**ランプまたは**内線**ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:15
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

● ワンタッチダイヤルとダイヤル入力を組合せてかける【ワンタッチ即時発信＝発信しない】

ワンタッチダイヤル

手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押します。

- ・対応する電話帳の登録内容が表示されます。(注1)

(例) コールセンターの番号＝78の場合

12月1日 (木) pm 4:07
No=003
コールセンター

- ・変更する場合は、正しい[ワンタッチダイヤル]ボタンか[クリア/戻る]ボタンを押します。



手順2: 続けて、追加する電話番号を入力します。

(例) 内線番号(1234)を追加する場合

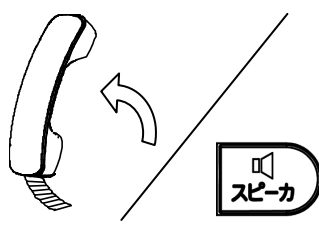
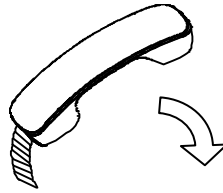
12月1日 (木) pm 4:07
No=003
コールセンター1234

- ・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと待機画面に戻ります。

(次ページに続く)

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]ボタンに電話帳が登録されていない場合、表示されません。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

	<p>手順3: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、発信を開始します。 ・発信を開始すると、次の表示となります。</p> <div data-bbox="734 324 1157 526" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:08 781234</div> <p>・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが点滅(I-USE)します。(注1) ・発信を中止する場合、送受器をおろすか再度[スピーカ]ボタンを押します。</p>
	<p>手順4: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="734 739 1157 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:08 781234 00'10</div> <p>・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)</p>
	<p>手順5: お話しが終わったら送受器をおろします。</p> <ul style="list-style-type: none">・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 <div data-bbox="734 1198 1157 1400" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:15 4000</div> <p>・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。</p>

注1:[外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 操作途中で、約20秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

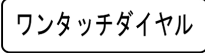
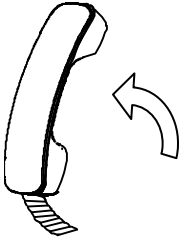
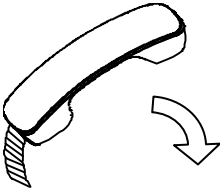
お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

- [ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけでかける【ワンタッチ即時発信＝発信する】

	<p>手順1: 待機状態から[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで、発信を開始します。(注1)</p> <div data-bbox="735 322 1152 535"><p>12月1日 (木) pm 4:07 本社営業</p></div> <p>・相手が呼出可能になると、スピーカから呼出音が聞こえます。 ・外線発信ランプまたは内線ランプが点滅(I-USE)します。(注2) ・発信を中止する場合、[スピーカ]ボタンを押します。</p>
	<p>手順2: 相手がでたら、送受器をあげてお話しください。</p> <div data-bbox="735 703 1152 916"><p>12月1日 (木) pm 4:08 本社営業 00'10</p></div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)</p>
	<p>手順3: お話しが終わったら送受器をおろします。</p> <p>・外線発信ランプまたは内線ランプが消灯します。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。</p> <div data-bbox="735 1122 1152 1335"><p>12月1日 (木) pm 4:15 4000</p></div> <p>・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。</p>

注1: 対応する[ワンタッチダイヤル]ボタンに電話帳が登録されていない場合、発信はできません。(話中音(BT)となります。)

注2: [外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 「ワンタッチ即時発信」を「発信する」に設定した場合、[ワンタッチダイヤル]ボタンを押すだけで発信を開始しますので注意してください。この場合、ダイヤル入力の組合せ発信はできません。
- [ワンタッチダイヤル]ボタンには、直接電話番号を登録できません。電話帳に電話番号を登録した後、メモリ番号で指定してください。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

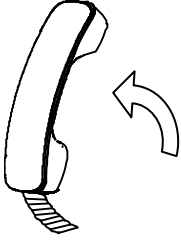
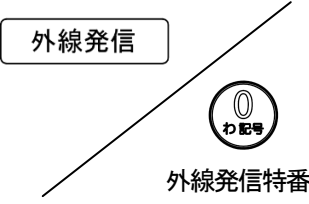

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.6 発信者番号の通知／非通知を指定してかける（発信者番号通知／非通知選択）

発信時に、相手先電話番号の先頭に186(発信者番号通知)／184(発信者番号非通知)の特番をダイヤルすることで、発信者番号を相手先に通知するか否かを指定することができます。(注1)

この特番を省略した場合、データ設定:「発信者番号通知」の設定内容が優先されます。(初期値:通知する)

- 番号非通知を指定して外線にかける

	<p>手順1:送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送受器から「ツツツ...」という発信音が聞こえます。(注2) ・内線ランプが点滅(I-USE)します。 ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 562 1153 772" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル?</p> </div>
 <p>外線発信</p> <p>0 わ配号</p> <p>外線発信特番</p>	<p>手順2:[外線発信]ボタンまたは外線発信特番(例:[0])を押します。 (注3)(注4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送受器からの発信音が「ツ」という音に変わります。 ・外線発信ランプが点滅(I-USE)します。(注5) <div data-bbox="730 958 1145 1169" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル?</p> </div>
	<p>手順3:番号非通知特番の[1][8][4]をダイヤルします。</p> <div data-bbox="724 1249 1139 1460" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル?</p> <p>184</p> </div>
	<p>手順4:続けて、相手先の電話番号をダイヤルします。 (例)相手先電話番号=05001234567の場合</p> <div data-bbox="724 1572 1139 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル?</p> <p>18405001234567</p> </div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。</p>

注1:ラインキー設定が行われている場合、ラインキー発信によりかけることができます。

注2:データ設定(発信外線種別選択)によって外線発信状態となることがあります。この場合、手順3に進んでください。

注3:データ設定により外線発信特番を“なし”に設定した場合は、[外線発信]ボタンから発信してください。

注4:データ設定により外線発信特番の外線捕捉自動付加を“有効”に設定した場合は、外線発信特番もダイヤル番号として付加します。

注5:[外線発信]ボタンが割付けられている場合に点滅します。

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

手順5:相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。

12月1日 (木) pm 4:07
18405001234567

手順6:相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:08
18405001234567
00'10

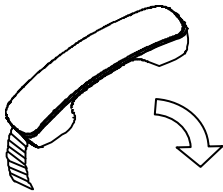
・通話時間が表示されます。
(“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)

手順7:お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・外線発信ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:15
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。



お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

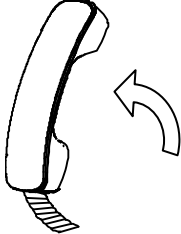


- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.7 GWを直接指定してかける（GW直接発信）

SIPサーバを介さずに直接指定されたGW経由で発信する機能です。GW直接発信を示す特番に続けて、相手先の電話番号をダイヤルします。

（本機能を使用する場合、あらかじめデータ設定でGW指定情報を登録しておく必要があります。）

	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 495 1153 707" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ダイヤル?</div>
 <p>GW指定特番</p>	<p>手順2: GW指定特番を入力します。(注1) (例) GW指定特番=9の場合は、[9]をダイヤルします。</p> <div data-bbox="735 824 1153 1037" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ダイヤル? 9</div>
	<p>手順3: 続けて、相手先の電話番号をダイヤルします。 (例) 相手先電話番号=106の場合</p> <div data-bbox="735 1151 1153 1364" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ダイヤル? 9106</div>
	<p>手順4: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <div data-bbox="735 1482 1153 1695" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">12月1日 (木) pm 4:07 9106</div>

(次ページに続く)

注1: 電話帳やワンタッチダイヤルを用いてかける場合は、GW指定特番と相手先の電話番号を合わせて登録してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

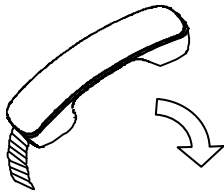
手順5: 相手がでたらお話しください。

12月1日 (木) pm 4:08
9106
00'10

・通話時間が表示されます。
（“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）

手順6: お話しが終わったら送受器をおろします。

・内線ランプが消灯します。
・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。



12月1日 (木) pm 4:15
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- GW直接発信は、内線発信操作またはプリセットダイヤル操作で行います。データ設定(発信回線種別選択)によって外線発信となる場合には、[内線]ボタンを押して内線発信に切り替えてください。
- GW直接発信機能を使用する場合、あらかじめ本製品やGW装置に必要な接続情報を設定しておく必要があります。データ設定や発信可能範囲等については、通信システムの管理者または工事者にご確認ください。

お願い

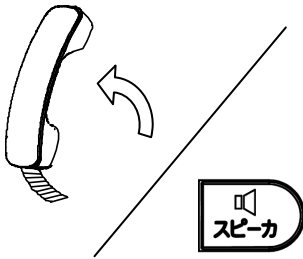
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）

3.3.8 送受器をあげるだけで特定の相手先に発信する（ホットライン）

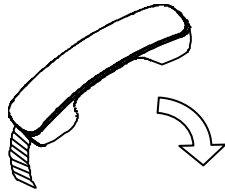
ホットラインは、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すだけで、あらかじめ登録された相手先をただちに呼出す機能です。（本機能を使用する場合、ホットライン機能に関するデータ設定が必要です。）

	<p>手順1:「ホットライン」機能が設定されている場合、待機状態では次の画面が表示されます。</p> <div data-bbox="730 405 1150 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (休) pm 4:07 4000 (ホットライン)</div>
 <p>The diagram shows a handset being lifted, indicated by a curved arrow. Below it is a button labeled 'スピーカ' (Speaker) with a speaker icon.</p>	<p>手順2:送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、ただちに登録した相手先に発信を開始します。（注1）</p> <ul style="list-style-type: none">・下のように、LCDに発信先が表示されます。 <div data-bbox="730 768 1150 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (休) pm 4:07 防火センター ホットライン接続</div> <p>・発信を中止する場合は、送受器をおろすか再度[スピーカ]ボタンを押します。</p>
	<p>手順3:相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="730 1126 1150 1335" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (休) pm 4:07 防火センター 00'10</div> <p>・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 （“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）</p>

（次ページに続く）

注1:電話帳(No.199)に電話番号が登録されていない場合は発信できません。(話中音(BT)となります。)

3. 電話機の使い方（その他の電話のかけ方）



手順4: お話が終わったら送受器をおろします。
・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:07
4000
(ホットライン)

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 次のようなケースでは、相手先に接続することができません。安定した接続が可能な運用条件を選定し、必ず接続確認を行ってください。
 - ・ 電話帳のNo.199に電話番号が登録されていない場合
 - ・ 相手先が「不在設定」などにより、着信を受け付けられない状態にある場合

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話が終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（着信に应答する）

3.4 着信に应答する

着信（代表着信/外線ダイヤルイン着信/内線着信/ラインキー着信/バーチャルライン着信）に対して、应答する操作について説明します。（注1）

3.4.1 着信を自動的に選択して应答する（オフフック着信应答）

オフフック着信应答は、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことにより、そのときの着信を自動的に選択して应答する機能です。

（内線着信 or 外線ダイヤルイン着信 > 代表着信（先着）or ラインキー着信（先着）or バーチャルライン着信（先着）の順に選択されます。）

代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信の場合、あらかじめデータ設定で「オフフック自動应答」を「应答する」、かつ、「代表着信設定（オフフック应答）」、「バーチャルオフフック应答」を「オフフック应答する」に設定する必要があります。

手順1：電話がかかってくると、着信音が鳴り、**着信**ランプと該当する回線の着信表示（**代表着信**・**ラインキー**・**バーチャルライン**・**外線ダイヤルイン着信**・**内線**）ランプが赤点滅（240INT）し、通知された発信者情報が表示されます。（注2）

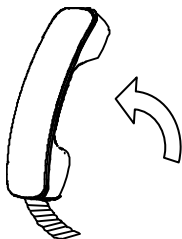
（例）電話番号＝05001234567からの着信

12月1日（休） pm 4:25
05001234567

（例）電話帳に登録された相手（大阪支社）からの着信

12月1日（休） pm 4:25
大阪支社

・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。



手順2：送受器をあげると着信に应答し、お話しができます。

・**着信**ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅（I-USE）します。
・代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信に应答した場合、他の端末の**代表着信**・**バーチャルライン**ランプは消灯し、**ラインキー**ランプは赤点灯します。

12月1日（休） pm 4:26
05001234567
00' 20

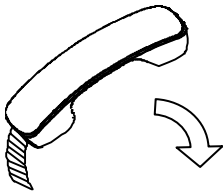
・通話時間が表示されます。
（“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。）

（次ページに続く）

注1：ラインキー着信はラインキー対応SIPサーバ接続時のみ使用できる機能です。

注2：データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

3. 電話機の使い方（着信に応答する）



手順3: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・該当する回線表示ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:27
4000

- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お願い

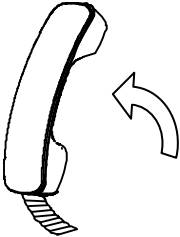
次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話が終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（着信に应答する）

3.4.2 着信(回線)を指定して应答する（プリセクション）

プリセクションは、应答する着信表示中の[代表着信]ボタン、[ラインキー]ボタン、[バーチャルライン]ボタンを押した後、送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すことで、目的の着信を選択して应答できる機能です。

	<p>手順1: 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと該当する回線の着信表示(代表着信・ラインキー・バーチャルライン)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。 (注1)(注2) (例) ラインキー着信が表示されている状態</p> <div data-bbox="732 539 1150 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:25 05009876543 (回線 01)</div>
<div data-bbox="295 824 496 880" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">代表着信</div> <hr/> <div data-bbox="295 965 496 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">ラインキー</div> <hr/> <div data-bbox="295 1106 496 1162" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">バーチャルライン</div>	<p>手順2: 应答する着信表示中の回線([代表着信]/[ラインキー]/[バーチャルライン])ボタンを押します。 ・選択された着信の情報が表示されます。 (例) [代表着信]ボタン(電話番号=05001234567からの着信)を選択</p> <div data-bbox="732 938 1150 1155" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:25 05001234567</div> <p>・異なる回線ボタンを押すことで、应答する着信が切り替わります。(注3)</p>
	<p>手順3: 送受器をあげると着信に应答し、お話しができます。(注3) ・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。 ・代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信に应答した場合、他の端末の代表着信・バーチャルラインランプは消灯し、ラインキーランプは赤点灯します。</p> <div data-bbox="732 1424 1150 1641" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 05001234567 00'20</div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)</p>

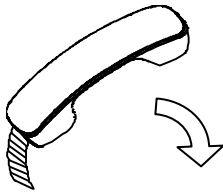
(次ページに続く)

注1: データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注2: 代表着信中、ラインキー着信中、バーチャルライン着信中に外線ダイヤルイン着信・内線着信の電話がかかってきた場合は、外線ダイヤルイン着信・内線着信が優先されるためプリセクションはできません。

注3: 約4秒以内に应答もしくは次の操作を行わないと、表示や应答の対象回線が元の着信に戻ります。

3. 電話機の使い方（着信に応答する）



手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・該当する回線表示ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態または優先順位が高い回線の着信表示に切り替わります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

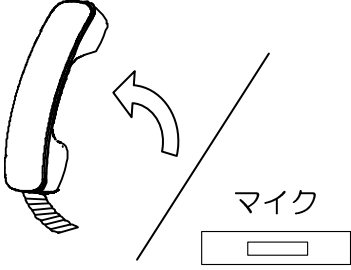
- 回線を選択後、4秒以内に応答もしくは次の選択操作を行ってください。
- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（着信に应答する）

3.4.3 着信に自動应答する

設定した時間で着信に自動应答する機能です。

本機能を使用する場合、あらかじめ[個別着信自動应答]ボタンを割付けて[個別着信自動应答]ランプを緑点灯させる必要があります。(注1)

	<p>手順1:電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと該当する回線の着信表示(ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線)ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。(注2) (例)相手先電話番号=05001234567からの着信</p> <div data-bbox="735 533 1152 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:25 05001234567</div>
	<p>手順2:設定された時間が経過すると自動で着信に应答します。(注3)(注4)</p> <ul style="list-style-type: none">・スピーカから「ブーブー」という应答音が聞こえます。・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。・スピーカランプが点灯します。 <div data-bbox="735 943 1152 1151" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 05001234567 00' 20</div> <p>・通話時間が表示されます。 (“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。)</p>
	<p>手順3:送受器をあげるか[マイク]ボタンを押してお話しします。(注5)</p>

(次ページに続く)

注1:[ヘッドセット使用]ボタンとの同時使用はできません。

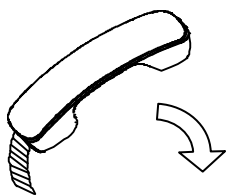
注2:データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注3:データ設定により、应答までの時間を設定することができます。

注4:内線着信、外線ダイヤルイン着信、ドアホン着信、ラインキーでの外線ダイヤルイン着信が対象となり、代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信は、自動应答は対象外となります。

注5:[マイク]ボタンを使用するハンズフリー通話については、“3.6.4 送受器をあげずに通話する (ハンズフリー通話)”を参照してください。

3. 電話機の使い方（着信に応答する）



手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・該当する回線表示ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

- ・[マイク]ボタンを押した場合、[スピーカ]ボタンを押します。
- ・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）


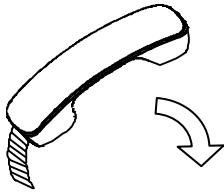
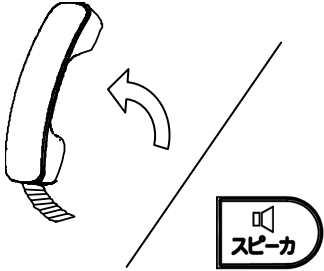
3.5 通話を保留する、転送する

通話を保留したり、他の電話機に転送したりする場合の操作について説明します。

3.5.1 通話を一時保留する

[保留]ボタンを押すことにより通話を保留し、相手側に保留音を送出します。また保留を解除して通話に戻ることができます。

- 保留後、送受器をおろしてから保留を解除する

	<p>手順1: 通話中に[保留]ボタンを押します。(注1)</p> <div data-bbox="732 546 1150 750" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2012 00'30</p></div>
	<p>手順2: 保留すると、「保留中」が表示され、相手側に保留音を送出されます。(注2)</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器とスピーカから保留音を送出されます。(注3)・着信ランプ、保留ランプが点滅(60INT)し、スピーカランプが点灯します。 <div data-bbox="732 920 1150 1124" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 保留中 00'40 ミュート中</p></div> <p>・この状態では、双方の会話は聞こえません。</p>
	<p>手順3: 送受器をおろします。</p> <ul style="list-style-type: none">・「ミュート中」の表示が消えます。 <div data-bbox="732 1279 1150 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2012 00'50</p></div>
	<p>手順4: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押すと、保留が解除されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・保留音が止まり、相手先との通話に戻ります。・通話中画面に戻り、着信ランプ、保留ランプが消灯します。・送受器をあげた場合は、スピーカランプが消灯します。 <div data-bbox="732 1688 1150 1899" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2012 00'50</p></div>



注1: データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合は、[保留]ボタンとして機能しません。[保留]ボタンとして使用したい場合は、「転送」以外に設定してください。

注2: 相手に送られる保留音と保留した側で送られる保留音とが異なることがあります。

注3: データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長時間保留時の警報音の有無などを切り替えることができます。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

- 保留後、送受器をおろさずに保留を解除する

	<p>手順1: 通話中に[保留]ボタンを押します。(注1)</p> <div data-bbox="730 331 1150 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2012 00'30</p></div>
	<p>手順2: 保留すると、「保留中」が表示され、相手側に保留音が送出されます。(注2)</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器とスピーカから保留音が送出されます。(注3)・着信ランプ、保留ランプが点滅(60INT)し、スピーカランプが点灯します。 <div data-bbox="730 730 1150 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 保留中 00'40 ミュート中</p></div> <p>・この状態では、双方の会話は聞こえません。</p>
	<p>手順3: 送受器を置かない状態から、保留を解除する場合は、[保留]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・保留音が止まり、相手先との通話に戻ります。・通話中画面に戻り、着信ランプ、保留ランプと、スピーカランプが消灯します。 <div data-bbox="730 1211 1150 1424" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2012 00'50</p></div>

注1: データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合は、[保留]ボタンとして機能しません。[保留]ボタンとして使用したい場合は、「転送」以外に設定してください。

注2: 相手に送出される保留音と保留した側で送出される保留音とが異なることがあります。

注3: データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長時間保留時の警報音の有無などを切り替えることができます。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

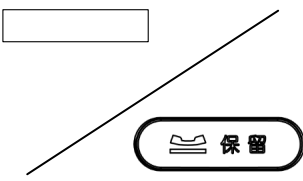
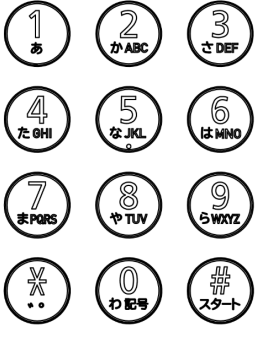
3.5.2 別の相手を呼出して通話を転送する

通話中の転送は、通話を保留し、別の電話機(転送先)を呼出した後、通話を切り替える機能です。

転送先を呼出している状態で切り替える「応答前転送」と、転送先に用件を伝えた後に切り替える「応答後転送」の形態があります。

また、転送先の相手を電話帳から検索して転送する「電話帳閲覧転送」ができます。

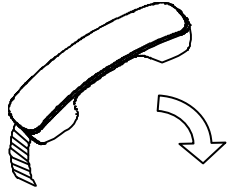
● 転送先を呼出して切り替える（応答前転送）

<p>転送</p> 	<p>手順1:通話中に[転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押すと、通話を保留し転送先発信状態となります。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・“転送先?”が表示され、送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 <div data-bbox="737 607 1153 819"><p>転送先 ?</p></div>
	<p>手順2:転送先の電話番号をダイヤルします。</p> <p>(例) 転送先電話番号=3456の場合</p> <div data-bbox="737 943 1153 1155"><p>転送先 ?</p><p>3 4 5 6</p></div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。・入力がない場合に[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送発信を中止し、元の通話に戻ります。
	<p>手順3:転送先の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると転送先への発信を開始します。</p> <div data-bbox="737 1395 1153 1608"><p>12月1日 (木) pm 4:26</p><p>3 4 5 6</p></div> <ul style="list-style-type: none">・[転送]ボタン、[保留]ボタンまたは[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送先への発信を中止し、元の通話に戻ります。

(次ページに続く)

注1:[保留]ボタンは、データ設定により自己保留形式を「転送」に設定した場合のみ、適用となります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

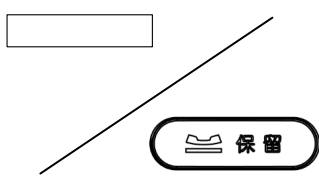

	<p>手順4: 転送先を呼出中に、送受器をおろすと転送を開始します。</p> <div data-bbox="730 309 1145 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 3456 転送中</p></div>
	<p>手順5: 転送が完了すると「転送完了」と表示されます。(注1)(注2)</p> <div data-bbox="730 701 1145 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 転送完了</p></div> <p>しばらくすると待機状態に戻ります。</p>

注1: 転送に失敗した場合、「転送失敗」が表示され、元の通話に戻すための呼返し(着信)がかかります。

注2: 転送先がIP電話サービス網をご利用した電話機の場合は、相手端末や通信網の状態によっては、転送に失敗する恐れがあります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

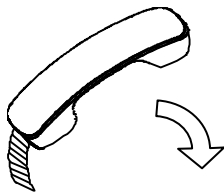
- 転送先に用件を伝えてから切り替える（応答後転送）

<p>転送</p> 	<p>手順1: 通話中に[転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押すと、通話を保留し、転送先発信状態となります。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・“転送先?”が表示され、送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 <div data-bbox="734 425 1149 638"><p>転送先 ?</p></div>
	<p>手順2: 転送先の電話番号をダイヤルします。 (例) 転送先電話番号=3456の場合</p> <div data-bbox="734 761 1149 974"><p>転送先 ? 3456</p></div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。・入力がない場合に[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送発信を中止し、元の通話に戻ります。
	<p>手順3: 転送先の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると転送先への発信を開始します。</p> <div data-bbox="734 1209 1149 1422"><p>12月1日 (木) pm 4:26 3456</p></div> <ul style="list-style-type: none">・[転送]ボタン、[保留]ボタンまたは[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送先への発信を中止し、元の通話に戻ります。
	<p>手順4: 転送先が応答後、用件(通話を転送すること)を伝えます。</p> <div data-bbox="734 1568 1149 1780"><p>12月1日 (木) pm 4:26 3456 00'20</p></div> <ul style="list-style-type: none">・[転送]ボタン、[保留]ボタンを押すと、元の通話に戻ります。・[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送先との通話を切断し、元の通話に戻ります。

(次ページに続く)

注1:[保留]ボタンは、データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合のみ適用となります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）



手順5: 送受器をおろすと転送を開始します。

12月1日 (木) pm 4:26
3456
転送中

手順6: 転送が完了すると「転送完了」と表示されます。(注1)

12月1日 (木) pm 4:26
転送完了

しばらくすると待機状態に戻ります。

注1: 転送に失敗した場合、「転送失敗」が表示され、元の通話に戻すための呼返し(着信)がかかります。

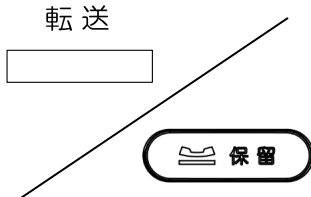


お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

- 電話帳に登録されている相手を検索して転送する（電話帳閲覧転送）


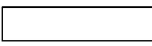

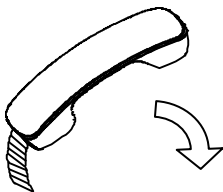
	<p>手順1: 通話中に[転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押すと、通話を保留し、転送先発信状態となります。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“転送先?”が表示され、送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 <div data-bbox="734 403 1149 616" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>転送先?</p> </div>
	<p>手順2: [電話帳]ボタンを押下します。 (例) フリガナ検索の場合</p> <div data-bbox="734 728 1149 940" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>■</p> <p>[カナ]</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「フリガナ検索」画面で[電話帳]ボタンを押すと、「メモリ番号検索」画面に切り替わります。 ・「フリガナ検索」画面で[電話帳]ボタンを約2秒間押すと、「グループ検索」画面に切り替わります。 ・入力がない場合に[クリア/戻る]ボタンを押すと、手順1の画面に戻ります。
	<p>手順3: ダイヤルボタンで先頭の文字を入力し、[設定/決定]ボタン押下でリストを表示した後、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的の相手先を選択します。(注2)</p> <div data-bbox="742 1288 1157 1500" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>■</p> <p>[カナ]</p> </div> <div data-bbox="742 1523 1157 1736" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>高崎営業所</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・[クリア/戻る]ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

(次ページに続く)

注1: [保留]ボタンは、データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合のみ適用となります。

注2: 手順3でリストが表示された状態で[転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押下すると、選択している相手に転送を開始します。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

	<p>手順4: [設定/決定]ボタンを押すと電話帳詳細画面に切り替わります。</p> <div data-bbox="727 291 1145 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>グループ 1 No. 001 高崎営業所 0271234567</p></div>
<p>転送</p>  	<p>手順5: [転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押下すると転送先への発信を開始します。(注1)</p> <div data-bbox="727 645 1145 857" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 高崎営業所</p></div> <p>・[転送]ボタン、[保留]ボタンまたは[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送先への発信を中止し、元の通話に戻ります。</p>
	<p>手順6: 転送先を呼出中に、送受器をおろすと転送を開始します。(注2)</p> <div data-bbox="738 1037 1157 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 高崎営業所 転送中</p></div>
	<p>手順7: 転送が完了すると「転送完了」と表示されます。(注3)(注4)</p> <div data-bbox="727 1350 1145 1563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 転送完了</p></div> <p>・しばらくすると待機状態に戻ります。</p>

注1: [保留]ボタンは、データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合のみ適用となります。

注2: 上記手順は応答前転送の手順です。応答後転送を行う場合は“3.5.2 別の相手を呼出して通話を転送する

●転送先に用件を伝えてから切り替える(応答後転送)”の手順4以降をご参照ください。

注3: 転送に失敗した場合、「転送失敗」が表示され、元の通話に戻すための呼返し(着信)がかかります。

注4: 転送先がIP電話サービス網をご利用した電話機の場合は、相手端末や通信網の状態によっては、転送に失敗する恐れがあります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

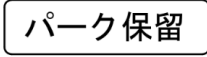

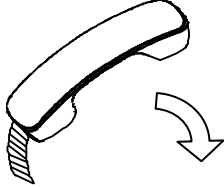
3.5.3 パーク保留する、パーク保留を解除する

パーク保留は、通話を[パーク保留]ボタンに連携して保留し、グループ内の電話機に保留状態を通知します。グループ内の電話機で該当する[パーク保留]ボタンを押すことで、応答(保留解除)できる機能です。(本機能を利用するためには、パーク保留設定やパーク保留解除特番を設定しておく必要があります。)

● パーク保留する

空いている(ランプの点灯していない)[パーク保留]ボタンを押します。

ラインキー使用時は[保留]ボタンを押します。以後のランプは、**ラインキー**ランプが点滅します。

	<p>手順1:通話中に、空いている[パーク保留]ボタンを押します。 ・「パーク保留起動」が表示されます。</p> <div data-bbox="732 580 1150 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12月1日 (木) pm 4:26 パーク保留 起 動</p> </div>
	<p>手順1':通話中に、[保留]ボタンを押します。(注1) ・「パーク保留起動」が表示されます。(注2)</p> <div data-bbox="732 909 1150 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12月1日 (木) pm 4:26 パーク保留 起 動</p> </div>
	<p>手順2:パーク保留が受け付けられると、“パーク保留中”が表示されます。(注3) ・該当のパーク保留ランプが緑点滅(I-HOLD)します。</p> <div data-bbox="732 1249 1150 1462" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12月1日 (木) pm 4:26 パーク保留 中</p> </div> <p>・グループ内の電話機で該当のパーク保留ランプは、赤点滅(60INT)となります。</p>
	<p>手順3:送受器をおろすとパーク保留が完了します。(注3)</p> <div data-bbox="732 1615 1150 1827" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>12月1日 (木) pm 4:27 パーク保留 中</p> </div> <p>・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。</p>

注1:ラインキー使用時、またはデータ設定により自己保留形式を「パーク保留」とした場合の動作になります。

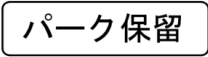
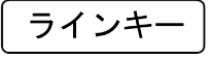
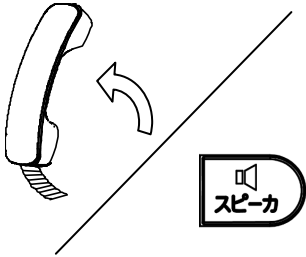
注2:ラインキー使用時の表示は「ライン保留起動」となります。

注3:ラインキー使用時の表示は「ライン保留中」となります。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

- パーク保留を解除する

保留した電話機またはグループ内の電話機から、保留状態の[パーク保留]ボタンを押します。
ラインキー使用時は[ラインキー]ボタンを押します。

	<p>手順1: 保留状態にある[パーク保留]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="734 365 1150 577"><p>12月1日 (木) pm 4:27 パーク保留中</p></div>
	<p>手順1': 保留状態にある[ラインキー]ボタンを押します。(注1)</p> <div data-bbox="734 667 1150 880"><p>12月1日 (木) pm 4:27 ライン保留中 (回線01)</p></div>
	<p>手順2: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押し、パーク保留解除を起動します。</p> <ul style="list-style-type: none">・内線ランプが点滅(I-USE)します。(注2) <div data-bbox="734 1043 1150 1256"><p>12月1日 (木) pm 4:27 パーク保留解除</p></div> <ul style="list-style-type: none">・ラインキーの場合は、「ライン保留解除」と表示され、3行目に回線番号が表示されます。
	<p>手順3: パーク保留が解除されると、通話状態となります。</p> <div data-bbox="734 1395 1150 1608"><p>12月1日 (木) pm 4:28 00'05</p></div> <ul style="list-style-type: none">・通話時間が表示されます。 (“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。)・グループ内の電話機の該当の[パーク保留]ランプは、消灯となります。

注1: ラインキー使用時の動作になります。

注2: ラインキー使用時は消灯のままになります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

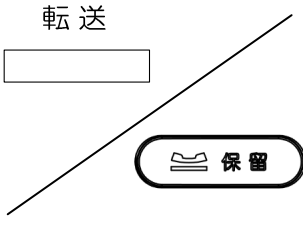

- パーク保留中は、その他の操作も行うことができます。
- [パーク保留]ボタンが割当てられていない電話機からは、応答(保留解除)することができません。
- データ設定により、[保留]ボタンを押した際の動作、長時間保留時の警報音の有無などを切り替えることができます。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）

3.5.4 通話中に別の相手を出して三者で通話をする

三者通話は、通話中に新たに別の電話機を呼出し、呼出先が応答後、[設定/決定]ボタンを押下することで三者での同時通話ができる機能です。

- 三者通話をする


	<p>手順1: 通話中に[転送]ボタンまたは[保留]ボタンを押すと、通話を保留し、転送先発信状態となります。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・“転送先?”が表示され、送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。 <div data-bbox="734 510 1152 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">転送先 ?</div>
	<p>手順2: 呼出先の電話番号をダイヤルします。(注2)</p> <p>(例) 呼出先電話番号=3456の場合</p> <div data-bbox="734 810 1152 1025" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">転送先 ? 3456</div> <ul style="list-style-type: none">・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。・入力がない場合に[クリア/戻る]ボタンを押すと、転送発信を中止し、元の通話に戻ります。
	<p>手順3: 呼出先の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると呼出先への発信を開始します。</p> <div data-bbox="734 1265 1152 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 3456</div> <ul style="list-style-type: none">・[転送]ボタン、[保留]ボタンまたは[クリア/戻る]ボタンを押すと、呼出先への発信を中止し、元の通話に戻ります。
	<p>手順4: 呼出先が応答後、用件(三者通話をする)を伝えます。</p> <div data-bbox="734 1624 1152 1832" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 3456 00'20</div> <ul style="list-style-type: none">・[転送]ボタン、[保留]ボタンを押すと、元の通話に戻ります。・[クリア/戻る]ボタンを押すと、呼出先との通話を切断し、元の通話に戻ります。

(次ページに続く)

注1: [保留]ボタンは、データ設定により、自己保留形式を「転送」に設定した場合のみ適用となります。

注2: 電話帳に登録されている相手を検索して発信することもできます。“3.5.2 別の相手を出して通話を転送する ●電話帳に登録されている相手を検索して転送する(電話帳閲覧転送)”を参照してください。

3. 電話機の使い方（通話を保留する、転送する）



手順5:[設定/決定]ボタンを押下すると三者通話が開始します。(注1)(注2)

12月1日 (木) pm 4:26
3456
2012

- ・相手先の二者の電話番号が表示されます。
- ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。

注1:三者通話中、相手先の二者のうち一者が終話すると、残りの方との二者通話になります。

注2:三者通話中、三者通話を開始した方が、送受器をおろし(ハンズフリー通話中の場合は[スピーカ]ボタンを押下)終話すると、転送操作を行います。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 三者通話をする場合は盗聴防止モードを使用しないでください。盗聴防止モードによる通話は、本製品の二者での内線通話のみの運用となります。
- 三者通話中は、保留をしないでください。残りの二者の方に保留音が流れてしまうため通話の妨げになってしまいます。三者通話中に自分の音声をミュートしたい場合は“**3.6.2 通話中に送話をミュートする**”を参照してください。
- 三者通話中は、[ワンタッチサービス特番]ボタンの押下は無効となります。


3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6 便利な機能

3.6.1 音量を調整する

着信音／送受器の受話／ヘッドセット受話／スピーカ受話の音量を調整することができます。

● 着信音の音量調整



手順1: 待機状態で[△(音量)]または[▽(音量)]ボタンを押すと、現在の音量が表示され、音量調整が可能となります。

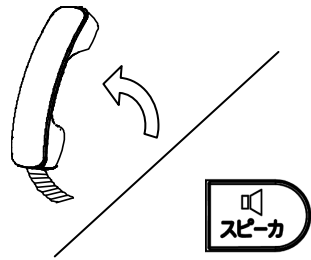
- ・一定時間操作を行わないと着信音量の表示が消え、音量調整が終了します。

12月1日 (木) pm 4:26

着信音量 ■■■□□

- ・着信時(呼出音鳴動中)にも調整ができます。
- ・音量は「小」、「標準」、「大」、「特大」の4段階に変化します。


● 送受器、ヘッドセット受話の音量調整



手順1: 送受器の場合、送受器をあげます。

- ・ヘッドセットの場合、[スピーカ]ボタンを押します。
- ・通話中の場合、手順2に進みます。

ダイヤル?



手順2: [△(音量)]または[▽(音量)]ボタンを押すと、現在の音量が表示され、音量調整が可能となります。

- ・一定時間操作を行わないと受話音量の表示が消え、音量調整が終了します。

ダイヤル?

受話音量 ■■■□□

12月1日 (木) pm 4:26
2012
00'50

受話音量 ■■■□□

- ・通話状態でも送受器、ヘッドセット受話音量の調整ができます。
- ・音量は「小」、「標準」、「大」、「特大」の4段階に変化します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- スピーカ受話の音量調整



手順1: [スピーカ]ボタンを押し、スピーカ受話状態にします。
・通話中の場合、手順2に進みます。

ダイヤル?



手順2: [△(音量)]または[▽(音量)]ボタンを押すと、現在の音量が表示され、音量調整が可能となります。

・一定時間操作を行わないとスピーカ音量の表示が消え、音量調整が終了します。

ダイヤル?

スピーカ音量 ■■■□□

12月1日 (木) pm 4:26
2012
00'50

スピーカ音量 ■■■□□

・通話状態でもスピーカ受話音量の調整ができます。
・音量は「小」、「標準」、「大」、「特大」の4段階に変化します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.2 通話中に送話をミュートする

ハンドセット通話中に[スピーカ]ボタンを押すと、相手に自分の音声を送出しないミュート機能が使用できます。



手順1: ハンドセット通話中に[スピーカ]ボタンを押すと、「ミュート中」と表示されます。

スピーカランプが点灯します。

```
12月1日 (木) pm 4:26
2012
00'50

ミュート中
```

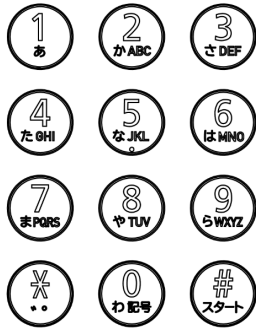
ミュート中に[スピーカ]ボタンを押すとミュート機能を解除します。

(注)ヘッドセットモード通話時の送話ミュートはできません。

3.6.3 通話中にプッシュ信号を送出する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号を相手先に送することができます。

残高照会や座席予約サービスや、交換機のダイレクトインダイヤル(DID)機能として内線を出すサービスなどにアクセスすることができます。



手順1: 電話がつながったらダイヤルボタン([0]~[9],[*],[#])を押します。

・プッシュ信号が相手先に送られます。

・押した番号がLCDに表示されます。

(例) ダイヤル[#][1][1][1][1]の場合

```
12月1日 (木) pm 4:26
#1111
01'30
```

手順2: ダイヤルボタンを操作しないまま約20秒が経過すると、元の表示に戻ります。

```
12月1日 (木) pm 4:26
2012
01'50
```

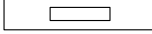


3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.4 送受器をあげずに通話する（ハンズフリー通話）

マイクとスピーカを用いて、送受器をあげずに通話することができます。

ハンズフリー通話は、スピーカ受話状態で、[マイク]ボタンを押すことで有効になります。

（[マイク]ランプと[スピーカ]ランプが点灯します。また送受器はおろした状態としてください。）

<p>マイク</p> 	<p>手順1：待機状態で[マイク]ボタンを押します。（注1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[マイク]ランプが点灯します。
	<p>手順2：[スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[スピーカ]ランプが点灯し、スピーカから発信音が聞こえます。 ・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 600 1153 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル?</p> </div>
	<p>手順3：ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力します。（注2） （例）相手先内線番号＝2000の場合</p> <div data-bbox="735 925 1153 1137" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ダイヤル? 2000</p> </div> <p>手順4：相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。 ・発信を中止する場合は、再度[スピーカ]ボタンを押します。
	<p>手順5：相手が出たらそのままお話しください。（注1）</p> <div data-bbox="735 1424 1153 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>12月1日 (木) pm 4:26 2000 00'10</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・通話時間が表示されます。 （“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）

（次ページに続く）

注1：[マイク]ボタンは、手順1、手順5のいずれで押してもハンズフリー通話が可能です。

注2：ハンズフリー通話は、外線、内線、いずれの通話でも利用できます。

3. 電話機の使い方（便利な機能）



手順6: お話が終わったら[スピーカ]ボタンを押します。
・[スピーカ]ランプが消灯し、約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- ハンズフリー通話とハンドセット通話は、同時にご利用できません。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

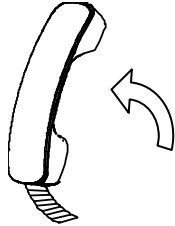

- ハンズフリー通話時は、ご利用になる環境により通話が困難になることがありますので、下記の環境ではハンドセット通話を行ってください。
 - ・周囲の雑音が大きいところ
 - ・音が反響しやすいところ
 - ・テレビ、ラジオの近く
 - ・相手の方がハンズフリー通話を使用しているとき

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.5 盗聴防止モードで通話する

盗聴防止モードは、通話音声を暗号化して相手の電話機に送ることにより、通話内容の秘匿性を高めるものです。

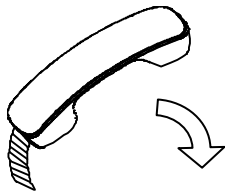
通話開始後に、[盗聴防止]ボタンを押すと、通常の話モードから盗聴防止モードになります。（盗聴防止モードによる通話は、本製品相互の内線通話でご利用ください。）

	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none">・送受器から「ツツツツ...」という発信音が聞こえます。・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="734 533 1152 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
	<p>手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。 (例) 相手先内線番号=2000の場合</p> <div data-bbox="734 864 1152 1075" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 2000</div>
<div data-bbox="300 1384 510 1442" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">盗聴防止</div>	<p>手順3: 相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、送受器をおろします。
	<p>手順4: 相手がでたら、[盗聴防止]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・盗聴防止ランプが点灯し、盗聴防止モードでの通話が開始されます。・相手側では、盗聴防止ランプが点滅(60INT)します。・盗聴防止モード中は、画面に“⓪”が表示されます。 <div data-bbox="734 1429 1152 1639" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 2000 00' 10 ⓪</div> <ul style="list-style-type: none">・盗聴防止モードの解除は、起動(盗聴防止モードに設定した)側の電話機で、再度[盗聴防止]ボタンを押します。(注1)・相手端末が盗聴防止モードをサポートしていない場合や、盗聴防止モードが解除された場合は、盗聴防止ランプが消灯となります。

(次ページに続く)

注1: 通話を保留したり、転送を行ったりしたときに、自動的に盗聴防止モードが解除される場合があります。このような場合には必要に応じて、再度盗聴防止モードに切り替える設定を実施してください。

3. 電話機の使い方（便利な機能）



手順5: お話が終わったら送受器をおろします。
・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 盗聴防止モードを利用する場合、双方の電話機に[盗聴防止]ボタンを割付けておく必要があります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 保留や転送などの操作によって盗聴防止モードが解除されます。必要に応じて盗聴防止ランプの状態を確認してください。また盗聴防止モードは通話内容の解読を困難にするもので、盗聴の可能性をなくすものではありません。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.6 発信者情報の表示

着信時に、電話をかけてきた相手の電話番号を表示します。

使用するサーバによっては、電話をかけてきた相手のディスプレイネームを表示します。

電話帳の登録内容と一致した場合はその名称が、また発信者番号を非通知でかけてきた場合、「非通知」の文字が表示されます。

- 外線/内線着信の場合

電話帳の登録内容と一致しない場合、電話番号またはディスプレイネームが表示されます。

12月1日 (木) pm 4:26
0312345678

- 電話帳登録内容と一致した場合（名称表示）

電話帳の登録内容と一致した場合、登録されている名称が表示されます。

12月1日 (木) pm 4:26
本社総務

- 番号非通知でかけてきた場合

「非通知」の文字が表示されます。

12月1日 (木) pm 4:26
非通知

お知らせ

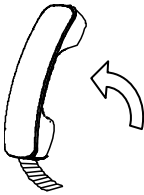

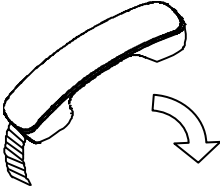
次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 「公衆電話」、「相手が不明です」、「表示圏外」と表示される場合もあります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.7 切断時の理由表示

相手先に電話がかけられなかった場合など、その理由情報が表示されます。

	<p>手順1: 送受器をあげます。</p> <div data-bbox="735 331 1153 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ダイヤル?</p></div>
	<p>手順2: ダイヤルボタンを用いて相手の電話番号を入力して発信します。 (例) 相手先内線番号=2099の場合</p> <div data-bbox="735 674 1153 882" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>ダイヤル? 2099</p></div>
	<p>手順3: 相手に接続できない場合、話中音(BT)が送出され、次のような理由情報が表示されます。 ・相手端末や内容によっては、情報が表示されないことがあります。</p> <p>(例) 相手端末が接続されていない場合</p> <div data-bbox="735 1151 1153 1359" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2099 >相手応答なし(404)</p></div> <p>(例) 相手端末が通話中の場合</p> <div data-bbox="735 1420 1153 1628" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 2099 >相手ビジー(486)</p></div>
	<p>手順4: 内容を確認したら、送受器をおろします。 ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。</p> <div data-bbox="735 1749 1153 1957" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>12月1日 (木) pm 4:28 4000</p></div> <p>・表示は一例です。データ設定内容によって異なります。</p>

3. 電話機の使い方（便利な機能）

● 理由表示と対応の例

表示内容(注1)	相手の状態	対応
>相手ビジー	通話中など、電話を受けられない状態を示します。	・しばらく待ってからかけ直してください。
>相手応答なし	電源が入っていなかったり、ネットワークに接続されていない等、SIPサーバが認識していない相手にかけたことを示します。	・電話番号を確認してください。 ・相手端末の接続やデータ設定を確認してください。 ・頻繁に表示される場合は、操作とエラーの表示内容(コード)を連絡し、指示を受けてください。
>その他エラー	上記以外の障害を示します。	・しばらく待ってからかけ直してください。 ・頻繁に表示される場合は、操作とエラーの表示内容(コード)を連絡し、指示を受けてください。

注1:エラー状態に応じたエラーコードが、併せて表示されることがあります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.8 不在設定

不在設定は、離席や外出などにより電話に出られない場合に、[不在]ボタンを押すことで着信を受け付けられないようにする機能です。データ設定により、「個別着信拒否」または「レジスト解除」のいずれかの不在動作を設定することができます。

- 不在設定を行う【不在動作＝個別着信拒否】

手順1: 待機状態で[不在]ボタン押して、「(不在)」が表示されることを確認します。このとき、**着信**ランプも点灯します。

不在	12月1日 (木) pm 4:26 4000 (不在)
----	-----------------------------------

- 不在設定を解除する【不在動作＝個別着信拒否】

手順1: 待機状態で[不在]ボタン押して、「(不在)」の表示が消えることを確認します。このとき、**着信**ランプも消灯します。

不在	12月1日 (木) pm 4:26 4000
----	---------------------------

- 電話をかけた側の表示【不在動作＝個別着信拒否】

手順1: 電話をかけると、話中音(BT)が聞こえ、不在を示すメッセージが表示されます。

	12月1日 (木) pm 4:26 4000 >相手ビジー-(486)
--	---

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- 不在設定を行う【不在動作＝レジスト解除】

不在

手順1: 待機状態で[不在]ボタン押して、「(不在)」が表示されることを確認します。
・着信ランプが点灯し、不在ランプが点滅(60INT)します。(注1)

12月1日 (木) pm 4:26
4000 (不在)

手順2: 不在ランプが点灯に変わることを確認します。

- 不在設定を解除する【不在動作＝レジスト解除】

不在

手順1: 待機状態で[不在]ボタン押します。
・不在ランプが点滅(60INT)します。(注1)

12月1日 (木) pm 4:26
4000 (不在)

手順2: 「(不在)」の表示が消えることを確認します。
・不在ランプ、着信ランプが消灯します。

12月1日 (木) pm 4:26
4000

・解除に失敗した場合は、不在ランプは点灯に戻ります。
着信ランプと「(不在)」表示は変化しません。

注1: 不在ランプの点滅(60INT)中は、すべての操作、ボタンが無効となります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- 電話をかけた側の表示【不在動作＝レジスト解除】

手順1：電話をかけると、話中音(BT)が聞こえ、不在を示すメッセージが表示されます。

12月1日 (木) pm 4:26
4000
>相手応答なし(404)

12月1日 (木) pm 4:26
4000
>相手ビジー(486)

・表示は一例です。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 不在設定中は、不在動作＝個別着信拒否/レジスト解除のいずれの場合でも、外線ダイヤルイン着信と内線個別着信を拒否します。またメモリ登録など、その他の機能は利用することはできません。
- 不在動作＝レジスト解除の場合は、発信や代表着信、パーク保留への応答はできません。
- 不在設定中に拒否した外線ダイヤルイン着信と内線個別着信の着信履歴は記録されません。



3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.9 ヘッドセットを使用する

ヘッドセットを使って、通話を行うことができます。

[ヘッドセット使用]ボタンを押して、ヘッドセットモードに設定してからご使用ください。（ヘッドセット使用ランプが赤点灯します。）

- ヘッドセットモードで発信する（注1）


	<p>手順1:[スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ヘッドセットから「ツツツツ...」という内線発信音が聞こえます。(注2)・内線ランプが点滅(I-USE)します。・LCDに“ダイヤル?”の文字が表示されます。 <div data-bbox="735 562 1152 775" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル?</div>
	<p>手順2:ダイヤルボタンを用いて相手の内線番号を入力します。 (例) 相手先内線番号=2000の場合</p> <div data-bbox="735 891 1152 1104" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダイヤル? 2000</div> <p>・入力したダイヤルを訂正する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。 短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。</p>
	<p>手順3:相手の電話番号を入力後、ダイヤルボタン[#]を押すか、約4秒経過すると発信を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none">・相手が呼出可能になると、呼出音が聞こえます。・発信を中止する場合は、再度[スピーカ]ボタンを押します。 <div data-bbox="735 1346 1152 1559" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:05 2000</div>

(次ページに続く)

注1:ここでは内線発信での操作について記載しています。外線発信については、“3.2.1.2 送受器をおろしたままかける(オンフック外線発信)”を参照してください。

注2:データ設定(発信回線種別選択)によっては外線発信音となることがあります。この場合、外線発信音を聞いている状態から[内線]ボタンを押してください。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

	<p>手順4：相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="735 293 1153 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:05 2000 00' 10</div> <p>・通話時間が表示されます。 （“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。）</p>
	<p>手順5：お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none">・内線ランプが消灯します。・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。 <div data-bbox="735 730 1153 943" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:28 4000</div> <p>・表示は一例です。設定などにより異なる場合があります。</p>

接続を保証しているヘッドセットは、下記サイトにて掲載しています。

http://www.nyc.co.jp/download/terms_main3.html

↑ TOP ページ ↑

※上記 URL に接続(アクセス)できない場合は、「TOP ページ」から「ダウンロード」にアクセスしてください。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 発信音を聞いている状態で、約20秒以内にダイヤルが入力されなかった場合は、発信を中止し、話中音(BT)が送出されます。またダイヤルの途中で約4秒以内に次の操作を行わないと、自動的に発信を開始します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- ヘッドセットモードで着信応答する（自動応答機能を「自動応答しない」に設定した場合）
ヘッドセットによる着信応答操作を、[スピーカ]ボタンのみ使用して行います。（注1）

手順1：電話がかかってくると、着信音が鳴り、**着信**ランプと該当する回線の着信表示（**代表着信**・**ラインキー**・**バーチャルライン**・**内線**・**外線ダイヤルイン着信**ランプ）が赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。（注2）

（例）電話番号＝05001234567からの着信

12月1日 (木) pm 4:26
05001234567

（例）電話帳に登録された相手(大阪支社)からの着信

12月1日 (木) pm 4:26
大阪支社

- ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。



手順2：[スピーカ]ボタンを押すと着信に应答し、お話しができます。
・**着信**ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。
・代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信に应答した場合、他の端末の**代表着信**・**バーチャルライン**ランプは消灯し、**ラインキー**ランプは赤点灯します。（注3）

12月1日 (木) pm 4:26
05001234567
00' 20

- ・通話時間が表示されます。
（“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。）



手順3：お話しが終わったら[スピーカ]ボタンを押します。
・該当する回線表示ランプが消灯します。
・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

- ・表示は一例です。設定などにより異なる場合があります。

注1：上記の他、プリセクションを行い、着信応答する方法があります。（“3.4.2 着信(回線)を指定して応答する（プリセクション）”を参照してください。）

注2：データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注3：あらかじめデータ設定で「オフフック自動応答」を「応答する」、かつ、「代表着信設定(オフフック応答)」、「バーチャルオフフック応答」を「オフフック応答する」に設定する必要があります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- ヘッドセットモードで着信応答する（自動応答機能を「自動応答する」に設定した場合）（注1）
[ヘッドセット使用]ボタンを押すと、**ヘッドセット使用**ランプが緑点灯します。

手順1：電話がかかってくると、着信音が鳴り、**着信**ランプと該当する回線の着信表示（**ラインキー**・**外線ダイヤルイン着信**・**内線**ランプ）が赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。

（注2）

（例）電話番号＝05001234567からの着信

12月1日 (木) pm 4:26
05001234567

（例）電話帳に登録された相手(大阪支社)からの着信

12月1日 (木) pm 4:26
大阪支社

- ・相手電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は電話帳に登録されている名前を表示します。

手順2：設定された時間が経過すると自動で応答し、お話しができます。

（注3）（注4）

- ・ヘッドセットから「プープー」という応答音が聞こえます。
- ・**着信**ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。

12月1日 (木) pm 4:27
05001234567
00' 20

- ・通話時間が表示されます。
（“59' 59”を越えると“00' 00”から再スタートします。）

手順3：お話しが終わったら**[スピーカ]**ボタンを押します。

- ・該当する回線表示ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:28
4000

- ・表示は一例です。設定などにより異なる場合があります。



注1：「自動応答機能」の設定については、通信システムの管理者または工事者にご確認ください。

注2：データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を指定することができます。

注3：内線着信、外線ダイヤルイン着信、ドアホン着信、ラインキーでの外線ダイヤルイン着信が対象となり、代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信は、自動応答は対象外となります。

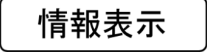
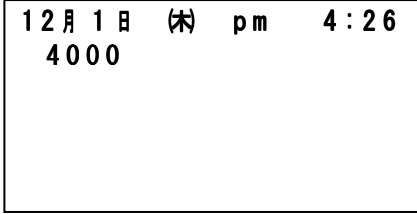
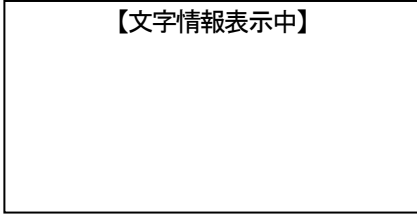
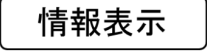
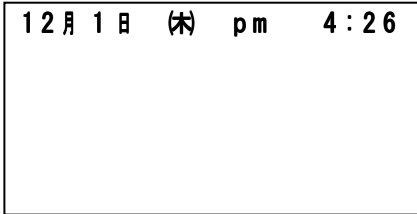
注4：データ設定により、応答までの時間を設定することができます。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.10 ASPサーバを使用して文字情報を表示する

ASPサーバに接続することで、ASPサーバから指定された文字情報をLCDに表示することができます。
(本機能を利用するためには、情報表示サーバ設定を行っておく必要があります。)

- 電話機操作により文字情報を表示する

	<p>手順1: 待機状態で、赤点灯している[情報表示]ボタンを押します。(注1) (注2)</p> 
	<p>手順2: LCDにASPサーバで設定された文字情報が表示されます。 ・情報表示ランプが緑点灯します。</p> 
	<p>手順3: 再度、[情報表示]ボタンを押すと、待機状態に戻ります。 ・情報表示ランプが赤点灯します。</p> 

注1: データ設定「情報表示サーバ接続」を「有効」にすることで、プログラマブルキー36は[情報表示]ボタンになります。ASPサーバに接続されると**情報表示**ランプが赤点灯になります。

注2: ASPサーバからアラーム音の指定があった場合は、アラーム音が鳴動します。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- ASPサーバからの起動により文字情報を表示する

	<p>手順1: 待機状態で、ASPサーバからの文字情報表示通知を受信すると、LCDに“サーバコール”の文字が表示されます。(注1) ・情報表示ランプが赤点滅(120INT)します。(注2)</p> <div data-bbox="735 387 1150 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 サーバコール</div>
<div data-bbox="308 752 512 808" style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">情報表示</div>	<p>手順2: 赤点滅(120INT)している情報表示ボタンを押します。(注3)</p> <div data-bbox="735 689 1150 902" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26 サーバコール</div>
	<p>手順3: LCDにASPサーバで設定された文字情報が表示されます。 ・情報表示ランプが緑点灯します。(注2)</p> <div data-bbox="735 1061 1150 1274" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【文字情報表示中】</div>
<div data-bbox="308 1453 512 1509" style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">情報表示</div>	<p>手順4: 再度、情報表示ボタンを押すと、待機状態に戻ります。 ・情報表示ランプが赤点灯します。</p> <div data-bbox="735 1406 1150 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日 (木) pm 4:26</div>

注1: データ設定「情報表示サーバ接続」を「有効」にすることで、プログラマブルキー36は**情報表示**ボタンになります。ASPサーバに接続されると**情報表示**ランプが赤点灯になります。

注2: ASPサーバからアラーム音の指定があった場合は、アラーム音が鳴動します。

注3: データ設定「サーバコール自動接続」を「自動接続」に設定すると、手順1、2は省略されます。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.11 ワンタッチサービス特番

ワンタッチサービス特番によって、サーバで準備されたサービスの操作を行うことができます。データ設定「サービス区分詳細情報」の設定内容により、次の三種類のパターンのサービスを操作できます。

パターン1: 待機中に、サービスの開始および停止ができます。

（ランプ、LCD 表示、および音声でサービスの状況を確認することができます。）

パターン2: 待機中に、使用中のラインキーに対して、サービスの起動および停止ができます。

（ランプ、LCD 表示、および音声でサービス状況を確認することができます。）

パターン3: 待機中もしくは通話中にサービスの起動および停止ができます。

（ランプ、LCD 表示でのみサービスの状況を確認することができます。）

サーバ側設定等に応じたデータ設定等の詳細は通信システムの管理者や工事者に確認してください。

- （例）パターン1で、待機中にサービスを開始する場合（注1）

<p>ワンタッチサービス特番</p>	<p>手順1: 待機状態で[ワンタッチサービス特番]ボタンを押すと、発信します。</p> <ul style="list-style-type: none">・内線ランプが点滅(I-USE)します。・スピーカランプが点灯します。・2行目にサービス種別名称で指定した電話帳名称を表示します。(注2)(注3) <p>12月1日 (木) pm 4:26 夜間切替</p>
	<p>手順2: サービスを開始します。(注2)(注4)</p> <ul style="list-style-type: none">・ワンタッチサービス特番ランプが赤点灯します。(注5)・スピーカからサービスに対応した音声ガイダンスが流れます。(注6) <p>12月1日 (木) pm 4:26 夜間切替 00'00</p>

(次ページに続く)

注1: データ設定「サービス区分詳細情報」で「サービス種別コード」を01～08に設定しておく必要があります。

注2: サービス種別名称で指定した電話帳が登録されていない場合やサービス種別名称が“0”の場合は、起動特番と情報選択コードを表示します。

注3: 「サービス種別名称」の1～8は、電話帳No.191～No.198で登録した名称を表示します。

注4: サーバの設定によってはLCD4行目に文字を表示する場合があります。

注5: 状態によっては、緑点滅(I-USE)の場合があります。

注6: サーバに設定されたサービスによって、流れる音声ガイダンスの内容は異なります。(ガイダンス無しの場合もあります。)

3. 電話機の使い方（便利な機能）



手順3: [スピーカ]ボタンを押すと、サービスを継続したままで、待機状態に戻ります。(注1)

- ・内線ランプが消灯します。
- ・スピーカランプが消灯します。

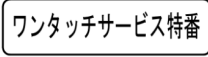

12月1日 (木) pm 4:28
4000

・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。

注1: サーバの設定によってはLCD4行目に文字を表示する場合があります。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

- （例）パターン1で、待機中にサービスを停止する場合

	<p>手順1: 待機状態で、赤点灯している[ワンタッチサービス特番]ボタンを押すと、発信します。(注1)</p> <ul style="list-style-type: none">・内線ランプが点滅(I-USE)します。・スピーカランプが点灯します。・2行目にサービス種別名称で指定した電話帳名称を表示します。(注2)(注3) <div data-bbox="735 495 1150 703" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 夜間切替</p></div>
	<p>手順2: サービスを停止します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ワンタッチサービス特番ランプが消灯します。・スピーカからサービスに対応した音声ガイダンスが流れます。(注4) <div data-bbox="735 842 1150 1050" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>12月1日 (木) pm 4:26 夜間切替 00'00</p></div>
	<p>手順3: [スピーカ]ボタンを押すと、待機状態に戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none">・内線ランプが消灯します。・スピーカランプが消灯します。 <div data-bbox="735 1245 1150 1462" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>12月1日 (木) pm 4:28 4000</p></div> <p>・表示は一例で、データ設定内容によって異なります。</p>

注1: 状態によっては、緑点滅(I-USE)の場合があります。

注2: サービス種別名称で指定した電話帳が登録されていない場合やサービス種別名称が“0”の場合は、解除特番を表示します。また、使用するサーバによっては情報選択コードが付加される場合があります。




注3: サーバの設定によってはLCD4行目に文字を表示する場合があります。

注4: サーバに設定されたサービスによって、流れる音声ガイダンスの内容は異なります。(ガイダンス無しの場合もあります。)

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.12 通話中に履歴情報を表示する

通話中に、発着信の履歴情報を表示することができます。

	<p>手順1: お話し中に[◀(着信履歴)]ボタンまたは[▶(発信履歴)]ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の名称/電話番号/ディスプレイネームが6件ずつ表示されます。 <table border="1" data-bbox="735 394 1153 600"> <tbody> <tr><td>01</td><td>未</td><td>0312345678</td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪 支社</td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td>2300</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 電話帳の登録内容と一致した場合、名称が表示されます。 応答しなかった(未応答であった)場合、“未”が反転表示されます。 	01	未	0312345678	02		本社 営業	03	未	大阪 支社	04		2000	05		2200	06		2300
01	未	0312345678																	
02		本社 営業																	
03	未	大阪 支社																	
04		2000																	
05		2200																	
06		2300																	
	<p>手順2: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、目的の履歴を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="735 790 1153 996"> <tbody> <tr><td>01</td><td>未</td><td>0312345678</td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪 支社</td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td>2300</td></tr> </tbody> </table>	01	未	0312345678	02		本社 営業	03	未	大阪 支社	04		2000	05		2200	06		2300
01	未	0312345678																	
02		本社 営業																	
03	未	大阪 支社																	
04		2000																	
05		2200																	
06		2300																	
	<p>手順3: [設定/決定]ボタンを押すと、記録日時が24時間制で表示されます。(注1)(注2)</p> <table border="1" data-bbox="735 1122 1153 1328"> <tbody> <tr><td>01</td><td>発</td><td>12/1(木) 15:45</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>5000</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、前後の履歴を表示します。 	01	発	12/1(木) 15:45			本社 営業			5000									
01	発	12/1(木) 15:45																	
		本社 営業																	
		5000																	
<p>クリア/戻る</p> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> <p>(長押し)</p>	<p>手順4: [クリア/戻る]ボタンを約2秒間押しすと、「通話中」画面に切り替わります。</p> <table border="1" data-bbox="735 1518 1153 1724"> <tbody> <tr><td>12月 1日 (木) pm 4:26</td></tr> <tr><td>05001234567</td></tr> <tr><td>00' 20</td></tr> </tbody> </table>	12月 1日 (木) pm 4:26	05001234567	00' 20															
12月 1日 (木) pm 4:26																			
05001234567																			
00' 20																			

注1: 発着信の履歴情報から発信することはできません。

注2: [メニュー]ボタンを押して、電話帳登録、履歴情報を消去することはできません。

3. 電話機の使い方（便利な機能）


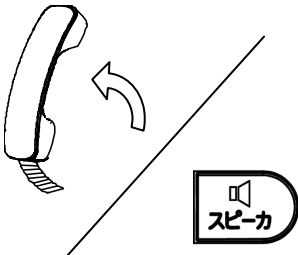
3.6.13 BLF

BLFは、任意の電話機の使用状況をモニタするための機能です。BLFを使用するには、あらかじめデータ設定により、[BLF]ボタンの割付けを行っておく必要があります。（注1）
また[BLF]ボタンを押すことにより、該当する内線番号へ発信することも可能です。

- 内線番号の使用状況の表示

手順1: BLFの機能が使用可能な場合は、**[BLF]**ランプに設定した電話機の状態が表示されますので、使用状況を確認してください。
・**[BLF]**ランプが点灯または点滅となります。（注2）

- 該当する内線番号に発信する

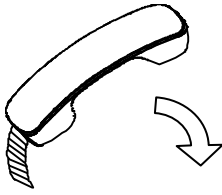
	<p>手順1: 待機状態で[BLF]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="735 757 1152 965"><p>12月1日 (木) pm 4:25 BLF01 1234</p></div>
	<p>手順2: 送受器をあげるか[スピーカ]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="735 1066 1152 1274"><p>12月1日 (木) pm 4:25 1234</p></div> <p>・[内線]ランプが点滅(I-USE)します。</p>
	<p>手順3: 発信すると[BLF]ランプが赤点滅(240INT)します。</p>
	<p>手順4: 相手がでたらお話しください。</p> <div data-bbox="735 1487 1152 1695"><p>12月1日 (木) pm 4:25 1234 00'10</p></div> <p>・[BLF]ランプが点灯します。 ・[スピーカ]ボタンを押した場合、送受器をあげてお話しください。 ・通話時間が表示されます。 （“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）</p>

（次ページに続く）

注1: BLFの機能は、BLFに対応したサーバと接続した場合のみ使用可能です。通信システムの管理者や工事者に使用可能かを確認してください。

注2: サーバの設定によって**[BLF]**ランプに表示される内容は異なりますので、通信システムの管理者や工事者に設定の内容を確認してください。

3. 電話機の使い方（便利な機能）



手順5: お話が終わったら送受器をおろします。

- ・BLFランプ、内線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日 (木) pm 4:25
4000

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 操作途中で、約20秒間操作が行われなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

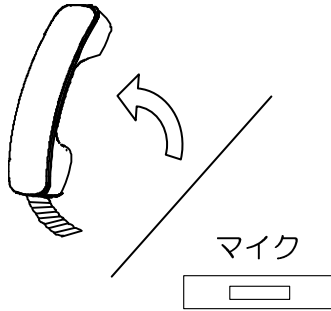
- お話が終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（便利な機能）

3.6.14 クリック to アンサー

着信に対して、パソコン操作によって応答することができる機能です。（注1）

本機能を使用するためには、クリック to アンサー機能に対応した SIP サーバおよびパソコンが必要です。また、あらかじめデータ設定により、クリック to アンサー機能を「有効」に設定しておく必要があります。通信システムの管理者や工事者に使用可能か確認してください。

	<p>手順1：電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプと該当する回線の着信表示（ラインキー・外線ダイヤルイン着信・内線）ランプが赤点滅(240INT)し、通知された発信者情報が表示されます。</p> <p>（注2）</p> <p>（例）相手先電話番号＝05001234567からの着信</p> <div data-bbox="735 607 1152 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日(木) pm 4:25 05001234567</div>
	<p>手順2：パソコンの専用ツールバーをクリックすると、着信に応答します。</p> <p>（注3）</p> <ul style="list-style-type: none">・着信ランプは消灯し、該当する回線表示ランプが点滅(I-USE)します。・スピーカランプが点灯します。 <div data-bbox="735 1037 1152 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">12月1日(木) pm 4:26 05001234567 00'20</div> <p>・通話時間が表示されます。 （“59'59”を越えると“00'00”から再スタートします。）</p>
	<p>手順3：送受器をあげるか、[マイク]ボタンを押してお話します。</p> <p>（注4）（注5）</p>

（次ページに続く）

注1：内線着信、外線ダイヤルイン着信、ドアホン着信およびラインキーでの外線ダイヤルイン着信が対象となります。

代表着信、ラインキー着信、バーチャルライン着信は対象外です。

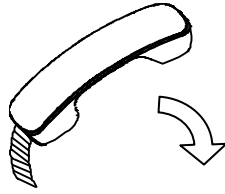
注2：データ設定により、着信音の音色や鳴動の有無を設定することができます。

注3：使用するパソコンによって操作が異なることがあります。

注4：**[マイク]**ボタンを使用するハンズフリー通話については、“**3.6.4 送受器をあげずに通話する（ハンズフリー通話）**”を参照してください。

注5：ヘッドセットモードの場合は不要です。

3. 電話機の使い方（便利な機能）



手順4：お話しが終わったら送受器をおろします。

- ・該当する回線ランプが消灯します。
- ・約3秒たつと、待機状態の表示に戻ります。

12月1日(木) pm 4:28
4000

- ・手順3で[マイク]ボタンを押した場合、またはヘッドセットモードの場合は、[スピーカ]ボタンを押します。
- ・表示は一例です。データ設定内容により異なります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- お話しが終わっても送受器を正しく置かないと、約60秒後に警告音(ハウラー音)が鳴りだしますので、送受器を正しく置き直してください。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

3.7 メモリ登録

ユーザが任意に設定できる電話帳の登録方法について説明します。




その他のデータ設定や変更は、通信システムの管理者や工事者に依頼してください。

3.7.1 電話帳の登録

電話帳には、相手先の名称/フリガナ/電話番号/グループ区分を、最大500件登録することができます。

以下に電話帳への相手先情報の登録、修正、削除の操作について説明します。

● 電話帳に新規で登録する

 <p>(長押し)</p>	<p>手順1: [電話帳/短縮] ボタンを約2秒間押し、「名称入力」画面が表示されます。(注1)</p> <div data-bbox="735 622 1153 835"><p>名称入力</p><p>■</p><p>[漢]</p></div>
	<p>手順2: ダイヤルボタンで名称を入力します。(注2)</p> <ul style="list-style-type: none">・漢字変換などの入力操作は、“4.1 ダイヤルボタンで文字を入力する”を参照してください。(ダイヤルボタンでひらがな入力、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで漢字候補を選択し、[設定/決定]ボタンで確定) <div data-bbox="735 1066 1153 1279"><p>名称入力</p><p>前橋工場 ■</p><p>[漢]</p></div> <p>・最大で全角8文字(半角16文字)まで登録できます。</p>
	<p>手順3: 名称入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「フリガナ入力」画面が表示されます。ダイヤルボタンでフリガナを入力します。(注2)</p> <div data-bbox="735 1431 1153 1644"><p>フリガナ入力</p><p>マエハシコウジョウ ■</p><p>[カナ]</p></div> <p>・最大で半角15文字まで登録できます。</p> <p>・フリガナは電話帳検索用の情報として使用されます。</p>

(次ページに続く)

注1: 電話帳の空きメモリがない場合、「空きがありません」のメッセージが表示されます。

注2: 入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」・「電話番号が未入力です」・「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)



手順4:フリガナ入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「電話番号入力」画面が表示されます。ダイヤルボタンで電話番号を入力します。
(注1)(注2)

電話番号入力 027■

・最大で31桁まで登録できます。

手順5:電話番号入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「グループ選択」画面を表示します。[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンと[設定/決定]ボタンを用いて登録するグループを指定します。

グループ選択
1 グループ 1
2 グループ 2
3 グループ 3
4 グループ 4
5 グループ 5

・グループ番号は電話帳検索用の情報として使用されます。

手順6:「メモリ番号入力」画面で、電話帳の登録位置を指定します。ダイヤルボタンで[0][0][0]~[4][9][9]の3桁を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。

・メモリ番号を入力しないで[設定/決定]ボタンを押すと、空いているメモリ番号を自動的に選択して登録します。(注1)

メモリ番号入力 000~499で指定 ■

・既に登録されているメモリ番号を指定した場合、「上書き確認」画面が表示されます。

・メモリ番号=199は、「ホットライン」の発信先として使用されます。

(次ページに続く)

注1:入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」・「電話番号が未入力です」・「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

注2:「GW直接発信」用として使用する場合は、「GW指定特番(例:[9])」を含めて登録します。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

手順7:登録が完了すると、画面に「登録しました」または「上書きしました」と表示されます。

電話帳登録
No. 000

登録しました

- ・続けて登録する場合は、[設定/決定]ボタンを押します。
- ・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳/短縮]ボタンを約2秒間押します。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 操作途中で、約60秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。



お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 電話帳にGW直接発信として利用する電話番号を登録する場合、GW指定特番を含めて登録してください。
- メモリ番号のNo.199は、「ホットライン」機能の発信先として使用されます。その他、サービス起動特番等システム共通の情報が登録されていることがありますので、通信システムの管理者に利用可能なメモリ番号(範囲)を確認してください。
- 電話帳の登録/修正/削除操作の途中で、電源やLANケーブルを抜かないでください。

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)

- 履歴の内容を電話帳に登録する

	<p>手順1: [◀(発信履歴)]ボタンまたは[▶(着信履歴)]ボタンを押した後、 [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで目的の履歴を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="734 324 1149 548"> <tr><td>01</td><td>未</td><td>0312345678</td></tr> <tr><td>02</td><td></td><td>本社 営業</td></tr> <tr><td>03</td><td>未</td><td>大阪 支社</td></tr> <tr><td>04</td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>05</td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>06</td><td></td><td>2300</td></tr> </table>	01	未	0312345678	02		本社 営業	03	未	大阪 支社	04		2000	05		2200	06		2300												
01	未	0312345678																													
02		本社 営業																													
03	未	大阪 支社																													
04		2000																													
05		2200																													
06		2300																													
<p>メニュー</p> <input data-bbox="343 694 470 728" type="text"/>	<p>手順2: [メニュー]ボタンを押します。</p> <table border="1" data-bbox="734 627 1149 840"> <tr><td>1</td><td>電話帳登録</td></tr> <tr><td>2</td><td>1件削除</td></tr> <tr><td>3</td><td>全件削除</td></tr> </table>	1	電話帳登録	2	1件削除	3	全件削除																								
1	電話帳登録																														
2	1件削除																														
3	全件削除																														
 <table border="1" data-bbox="271 1209 526 1545"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>あ</td><td>かABC</td><td>せDEF</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>たGHI</td><td>なJKL</td><td>はMNO</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>まPQRS</td><td>やTUV</td><td>らWXYZ</td></tr> <tr><td>✳</td><td>0</td><td>#</td></tr> <tr><td>..</td><td>わ配号</td><td>スタート</td></tr> </table>	1	2	3	あ	かABC	せDEF	4	5	6	たGHI	なJKL	はMNO	7	8	9	まPQRS	やTUV	らWXYZ	✳	0	#	..	わ配号	スタート	<p>手順3: [△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで「電話帳登録」を選択し、 [設定/決定]ボタンを押すと、「名称入力」画面が表示されます。 (注1)(注2)</p> <table border="1" data-bbox="734 996 1149 1209"> <tr><td>名称入力</td></tr> <tr><td>■</td></tr> <tr><td>[漢]</td></tr> </table> <p>手順4: ダイヤルボタンで名称を入力します。(注3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字変換などの入力操作は、“4.1 ダイヤルボタンで文字を入力する”を参照してください。 (ダイヤルボタンでひらがな入力、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで漢字候補を選択し、[設定/決定]ボタンで確定) <table border="1" data-bbox="734 1422 1149 1635"> <tr><td>名称入力</td></tr> <tr><td>渋谷事務所 ■</td></tr> <tr><td>[漢]</td></tr> </table> <p>・最大で全角8文字(半角16文字)まで登録できます。</p>	名称入力	■	[漢]	名称入力	渋谷事務所 ■	[漢]
1	2	3																													
あ	かABC	せDEF																													
4	5	6																													
たGHI	なJKL	はMNO																													
7	8	9																													
まPQRS	やTUV	らWXYZ																													
✳	0	#																													
..	わ配号	スタート																													
名称入力																															
■																															
[漢]																															
名称入力																															
渋谷事務所 ■																															
[漢]																															

(次ページに続く)

注1: 電話帳の空きメモリがない場合、「空きがありません」のメッセージが表示されます。

注2: 「非通知」など、電話番号情報が存在しない場合、「登録できません」のメッセージが表示されます。

注3: 入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」・「電話番号が未入力です」・「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)



手順5: 名称入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「フリガナ入力」画面が表示されます。ダイヤルボタンでフリガナを入力します。(注1)

フリガナ入力
シフ ヤシ ムシヨ ■
[カナ]

- ・最大で半角15文字まで登録できます。
- ・フリガナは電話帳検索用の情報として使用されます。

手順6: フリガナ入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと「電話番号入力」画面が表示されますので、再度[設定/決定]ボタンを押します。(注1)

電話番号入力
0312345678 ■

手順7: 電話番号入力完了後、[設定/決定]ボタンを押すと、「グループ選択」画面が表示されます。[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンと[設定/決定]ボタンを用いて指定します。

グループ選択
1 グループ 1
2 グループ 2
3 グループ 3
4 グループ 4
5 グループ 5

- ・グループ番号は電話帳検索用の情報として使用されます。

手順8: 「メモリ番号入力」画面で、電話帳の登録位置を指定します。ダイヤルボタンで[0][0][0]～[4][9][9]の3桁を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。

- ・メモリ番号を入力しないで[設定/決定]ボタンを押すと、空いているメモリ番号を自動的に選択して登録します。(注1)

メモリ番号入力
000～499 で指定
■

- ・既に登録されているメモリ番号を指定した場合、「上書き確認」画面が表示されます。
- ・メモリ番号=199は、「ホットライン」発信先として使用されます。

(次ページに続く)

注1: 入力内容に誤りがある場合、「名称が無効です」・「電話番号が未入力です」・「メモリ番号が不正です」などのメッセージが表示されますので、該当する項目の入力内容を確認し、再度設定してください。

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)

手順9:登録が完了すると、「登録しました」または「上書きしました」が表示されます。

電話帳登録
No. 000

登録しました

- ・続けて登録する場合は、[設定/決定]ボタンを押します。
- ・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳/短縮]ボタンを約2秒間押します。

● 電話帳の内容を修正する



手順1:待機状態から[電話帳/短縮]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1)

フリガナ検索
■

[カナ]

- ・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」と表示されます。



手順2:ダイヤルボタンで先頭の文字を入力し、[設定/決定]ボタンを押下でリストを表示した後、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、目的のメモリを選択します。

フリガナ検索
■

[カナ]



十勝出張所

- ・表示は一例です。
- ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」と表示されます。

(次ページに続く)

注1:データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)

<p>メニュー</p> <input type="text"/>	<p>手順3:[メニュー]ボタンを押し、「電話帳修正」を選択し[設定/決定]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="735 293 1150 504"><p>1:電話帳修正 2:電話帳削除</p></div>
<p>クリア/戻る</p> <input type="text"/> 	<p>手順4:「名称入力」画面が表示されます。必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正完了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。</p> <div data-bbox="738 663 1153 873"><p>名称入力 + 勝 ■ えい [漢]</p></div> <div data-bbox="738 891 1153 1102"><p>名称入力 + 勝 営業所 ■ [漢]</p></div>
	<p>手順5:「フリガナ入力」画面で、必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正完了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。</p> <div data-bbox="738 1261 1153 1471"><p>フリガナ入力 トカチエイキョウシ ■ [カナ]</p></div>
	<p>手順6:「電話番号入力」画面で、必要に応じて[クリア/戻る]ボタンを押し、内容を修正します。修正終了後は[設定/決定]ボタンを押し、次に進みます。</p> <div data-bbox="738 1641 1153 1852"><p>電話番号入力 7000 ■</p></div>

(次ページに続く)

3. 電話機の使い方 (メモリ登録)

クリア/戻る



手順7:「グループ選択」を変更する場合、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンと[設定/決定]ボタンを用いて新たなグループを指定します。

グループ選択	
1	グループ 1
2	グループ 2
3	グループ 3
4	グループ 4
5	グループ 5

手順8:「メモリ番号入力」画面で、[設定/決定]ボタンを押します。
・メモリ番号を変更する場合は、[クリア/戻る]ボタンで現在のメモリ番号を消し、ダイヤルボタンで新たなメモリ番号を入力します。

メモリ番号入力
000～499で指定
034

・メモリ番号=199は、「ホットライン」発信先として使用されます。

手順9:「上書き確認」画面で「する」を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。

電話帳上書き
0:しない
1:する

手順10:登録が完了すると、「上書きしました」のメッセージが表示されます。




電話帳上書き
No. 034
上書きしました

・続けて修正する場合は、[設定/決定]ボタンを押すと手順3の[メニュー]ボタンを押す前の画面に戻りますので、目的のメモリを選択し、手順3から行ってください。

・電話帳登録を終了する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押すか、[電話帳/短縮]ボタンを約2秒間押します。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

- 電話帳の内容を削除する

	<p>手順1: 待機状態から[電話帳/短縮]ボタンを押すと、「フリガナ検索」画面が表示されます。(注1)</p> <div data-bbox="735 327 1153 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>■</p> <p>[カナ]</p> </div> <p>・電話帳が未登録の場合、「登録がありません」と表示されます。</p>
	<p>手順2: ダイヤルボタンで先頭の文字を入力し、[設定/決定]ボタン押下でリストを表示した後、[△(音量)]ボタンまたは[▽(音量)]ボタンで、目的のメモリを選択します。</p> <div data-bbox="735 759 1153 1191" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フリガナ検索</p> <p>■</p> <p>[カナ]</p> <p>十 勝出張所</p> </div> <p>・表示は一例です。 ・フリガナ指定時に、該当するメモリ内容が登録されていない場合は、「該当なし」と表示されます。</p>
<p>メニュー</p> <div data-bbox="336 1391 464 1424" style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 15px; margin-bottom: 10px;"></div> 	<p>手順3: [メニュー]ボタンを押し、「電話帳削除」を選択します。</p> <div data-bbox="735 1350 1153 1563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1: 電話帳修正</p> <p>2: 電話帳削除</p> </div> <p>手順4: 「電話帳削除」画面で、「削除する」を指定し、[設定/決定]ボタンを押します。</p> <div data-bbox="735 1680 1153 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>電話帳削除</p> <p>0: 削除しない</p> <p>1: 削除する</p> </div>

(次ページに続く)

注1: データ設定により、電話帳検索モードを「1 グループ検索」に設定した場合、「グループ検索」画面が表示されます。

3. 電話機の使い方（メモリ登録）

手順5: 削除が完了すると「削除しました」のメッセージが表示されます。

電話帳削除
No. 063

削除しました

・[クリア/戻る]ボタンを押すとリスト表示に戻ります。

お知らせ

次の事項は、本製品を取り扱う上での注意事項です。

- 操作途中で、約60秒以内に次の操作を行わなかった場合は、待機状態に戻ります。

お願い

次の事項を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能の停止をまねく内容を示しています。

- 電話帳の登録/修正/削除操作の途中で、電源やLANケーブルを抜かないでください。

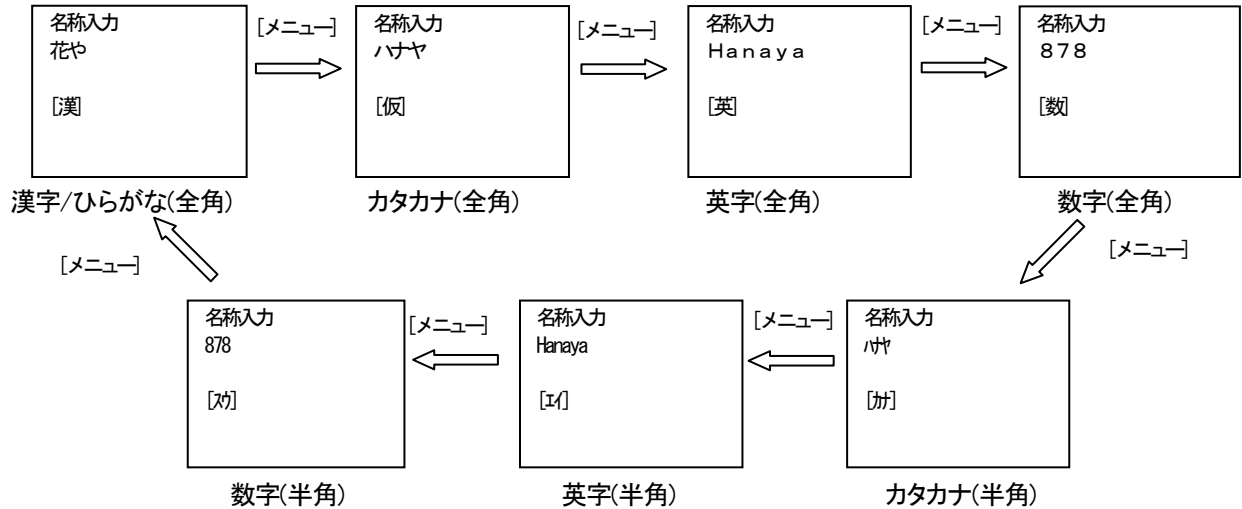
4. 付録

4.1 ダイアルボタンで文字を入力する

データ設定や電話帳の登録操作などにおいて、各種文字を入力する方法について説明します。
 (設定項目によっては、入力可能な文字や種別が限定されることがありますので、注意してください。)

● 文字種別の切り替え

[メニュー]ボタンを押すことにより、次のように入力する文字種別が切り替わります。



文字種別 ダイアル	ひらがな [漢]:全角	カタカナ [仮]:全角、[カ]:半角	英字 [英]:全角、[エイ]:半角	数字 [数]:全角、[スウ]:半角
① あ	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ		1
② かABC	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
③ さDEF	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
④ たGHI	たちつてとつ	タチツテトツ	ghiGHI	4
⑤ なJKL	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
⑥ はMNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
⑦ ぱPQRS	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
⑧ やTUV	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
⑨ わWXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
⑩ お123	わをん° (空白) — 。。	ワヲン ー・、。！？「」(空白)	@ : - _ ? ! " # \$ % & ' () * + ; < = > [¥] ^ { } ~ (注1) (空白)	0
✕ ° °	°(濁点) °(半濁点)	°(濁点) °(半濁点)	. /	*
# スタート				#

(注1) 半角の場合は、「~」で表示します。

(次ページに続く)

4. 付録

- ・同じボタンの文字を続けて入力する場合は、[▷ (発信履歴)]ボタンを押下し、入力位置を移動します。
- ・ひらがな[漢]モードでは、[△ (音量)]ボタンまたは[▽ (音量)]ボタンで入力文字の漢字の変換候補を表示し、[設定/決定]ボタンを押して確定します。
- ・半角カタカナ[カナ]モードでは、` (濁点)や° (半濁点)も1桁分として入力されます。
- ・入力文字を訂正、消去する場合は、[クリア/戻る]ボタンを押します。
(短く押すと1桁消去され、約2秒間押すと全桁が消去されます。)
- ・ひらがな[漢]モード、全角カタカナ[仮]モードの` (濁点)や° (半濁点)は、有効文字のみ入力(付与)可能となります。